Pioneer

音楽管理ソフトウェア

rekordbox™

操作説明書

もくじ

rekordbox の概要

rekordbox は、パイオニア製 DJ プレーヤーで再生する音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。

- コンピューターに保存されている音楽ファイルを分類・検索し、DJ シーンに応じたプレイリストを作成できます。
- 音楽ファイルの拍位置 (ビート)、テンポ (BPM) などをあらかじめ検出・測定・調整しておくことができます。
- キュー、ループ、ホットキューなどのポイント情報をあらかじめ設定・保存しておくことができます。

rekordbox で準備した各種ポイント情報やプレイリストを使ってパイオニア製 DJ プレーヤーで演奏できるだけでなく、演奏後の演奏履歴、演奏回数、ポイント情報などを rekordbox にフィードバックできます。

rekordbox の特長

音楽ファイルを自動解析し、より高度なパフォーマンスが可能に

MUSIC FILE ANALYSIS

rekordboxを使って音楽ファイルを解析することにより、波形、拍位置 (ビート) 、テンポ (BPM) など、DJプレイをするときに便利なさまざまな情報を取得・表示できます。たとえば、

- 解析済みの音楽ファイルを DJ プレーヤーにロードすると、波形情報がただちに表示され、曲全体を視覚的に把握できます。
- rekordbox や DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、CDJ-900nexus、CDJ-2000、CDJ-900、XDJ-AERO、XDJ-R1 など) のクオンタイズ機能を使って、正確なキューやループを簡単に設定できます。
- 正確で安定した BPM 情報を瞬時に表示・確認できます。また、ビートシンク機能を使って、複数の DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など）や左右のデッキ（XDJ-AERO や XDJ-R1 など）のテンポ(BPM)と拍位置(ビート)を同期させたミキシングができます。

パイオニア製 DJ 機器と rekordbox とで連携して実現できる機能は、お使いになる DJ 機器によって異なります。

BEAT GRID

音楽ファイルを解析して検出された拍位置 (ビート) が、拡大波形表示上に線でグリッド表示されます。

QUANTIZE

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900nexus CDJ-900 DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus XDJ-AERO XDJ-R1

rekordbox を使って音楽ファイルの拍位置 (ビート) をあらかじめ検出・調整しておくことによって、DJ プレーヤーや DJ ミキサーでラフにボタンを押しても、オンビートでキューやループ、エフェクトを設定・演奏できます。

CUE/LOOP POINT MEMORY

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900nexus CDJ-900 CDJ-850 MEP-4000 RMX-1000 XDJ-AERO *1

rekordbox を使ってあらかじめキュー/ループポイントを設定・保存しておくことによって、DJ プレーヤーでキュー/ループポイントを呼び出せます。rekordbox で保存できるキュー/ループポイントは、1 つの音楽ファイルにつき 10 個までです。また、rekordbox で作成したループを切り出して WAVE ファイルに出力することもできます。

- *1 曲の始めに最も近いキューポイントのみ使えます。

HOT CUE

CDJ-2000nexus CDJ-2000 XDJ-R1

rekordbox を使ってあらかじめホットキューを記録しておくことによって、DJ プレーヤーでホットキューを呼び出すことができます。rekordbox で記録できるホットキューは、1 つの音楽ファイルにつき 3 個までです。

HOT CUE BANK LIST

CDJ-2000nexus　CDJ-2000

rekordbox では、DJ プレーヤーで使いたい3つのホットキュー (A、B、C) の組み合わせをホットキューバンクリストとして作成できます。このホットキューバンクリストには、異なる音楽ファイルのキューを組み合せて登録できます。

ホットキューバンクリストを多数用意しておくことによって、これまでにはなかった数多くのホットキューの組み合わせを DJ プレーヤーで素早く呼び出して演奏できます。

BEAT SYNC

CDJ-2000nexus　CDJ-900nexus　XDJ-AERO　XDJ-R1

rekordbox を使って音楽ファイルを解析することにより、複数の DJ プレーヤー間(または左右のデッキ間)でテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させた多彩なエフェクトやミキシングが可能になり、DJ プレイの幅が大きく広がります。

ジャンルやアーティストなどの情報を設定することにより、DJ プレーヤーで快適なブラウズが可能に

LIBRARY BROWSE

CDJ-2000nexus　CDJ-2000　CDJ-900nexus　CDJ-900　CDJ-850　CDJ-350　MEP-4000　XDJ-AERO　XDJ-R1

rekordbox を使って音楽ファイルの表示カテゴリーやソート項目を設定できます。あらかじめ設定しておくことにより、DJ プレーヤーで音楽ファイルを選曲するときにライブラリブラウズ機能（ジャンルや BPM など）で音楽ファイルを表示、ソート、検索できます。

PLAYLIST

CDJ-2000nexus　CDJ-2000　CDJ-900nexus　CDJ-900　CDJ-850　CDJ-350　MEP-4000　XDJ-AERO　XDJ-R1

rekordbox を使ってお気に入りの音楽ファイルのプレイリストをあらかじめ作成しておくことによって、DJ プレーヤーで目的のトラックを素早く選曲できます。

TAG LIST

CDJ-2000nexus　CDJ-2000　CDJ-900nexus　CDJ-900　XDJ-AERO

プレイリストとは別に、これから演奏する予定の音楽ファイルを rekordbox のタグリストに一時的に集めておけます。また、rekordbox のタグリストは、コンピューターと LAN で接続された DJ プレーヤーとの間でオンラインで共用できます。複数の DJ プレーヤーを交互に使ってライブ演奏をしているときの選曲操作にとても便利です。

DJ 機器とリンクして音楽ファイルやデータを共有

USB EXPORT

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900nexus CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 MEP-4000 XDJ-AERO XDJ-R1

DJ ブースにコンピューターを持ち込まずに、USB デバイス (フラッシュメモリーやハードディスク) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます。一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。

LINK EXPORT

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900nexus CDJ-900 XDJ-AERO

DJプレーヤーとコンピューターをLANケーブルや無線LANで接続すると、DJプレーヤーにrekordboxの音楽ファイルやデータをリアルタイムでロードできます。
接続のしかたについては、各 DJ プレーヤーおよびコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

PRO DJ LINK

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900nexus CDJ-900 DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus

PRO DJ LINK に対応したパイオニア製 DJ 機器を LAN ケーブルを使って相互に接続することによって、DJ ミキサーや複数の DJ プレーヤーで rekordbox の音楽ファイルやデータを共有できます。DJ プレーヤーは 4 台まで接続できます。
また、rekordbox がインストールされているコンピューターを 2 台まで接続できるので、DJ の交代がスムーズに済みます。なお、LAN の構成や DJ プレーヤーの仕様によっては、最大6台のコンピューター(有線接続 2 台/無線接続 4 台)との通信が可能です。

LINK MONITOR

DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus

PRO DJ LINK で接続された DJ ミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターできます。

プレイしたトラックをプレイリスト化し、DJ プレイの振り返りや次回のプレイに応用

HISTORY/PLAYLIST

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900nexus CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 XDJ-AERO XDJ-R1

DJ プレーヤーで演奏した演奏履歴や DJ プレーヤーで作成したプレイリストを rekordbox にフィードバックできます。

外部ライブラリと同期して音楽ファイルを管理

■ SYNC MANAGER

iTunes や USB デバイスと rekordbox を同期することによって、プレイリストを常に最新の状態で簡単にデバイスへエクスポートできます。

さまざまな便利機能で選曲を効率化

■ PLAYLIST PALETTE

4 つのプレイリストを同時に表示することによって、音楽ファイルの分類作業を素早くできます。

■ MY TAG

楽曲の詳細なジャンルや特長など、お好みの文言を、ライブラリ上の各音楽ファイルにタグ付けできます。
マイタグフィルターを使うことによって、タグ付けした条件で絞り込み検索ができます。

■ RELATED TRACKS

プレーヤーで再生しているトラックまたはトラックリストで選択中の音楽ファイルに対して、BPM やキーなどが近い音楽ファイルを一覧表示できます。

■ PREVIEW

トラックリストに表示された波形やアートワークをクリックすることで、トラックをプレーヤー部にロードすることなく音楽ファイルを試聴できます。

■ 2 PLAYERS

プレーヤー部を2プレーヤーモードにすると、2曲を同時に再生できます。

rekordbox を使って演奏の準備をする

パイオニア製 DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、XDJ-AERO、XDJ-R1) に付属の CD-ROM から、コンピューターに rekordbox をインストールしてお使いください。rekordbox のソフトウェア使用許諾契約書、最低動作環境、インストール手順などについては、「ご使用の前に 」(別冊) をご覧ください。

- rekordbox のオンラインサポートから、インストールプログラムをダウンロードすることもできます。rekordbox のソフトウェア使用許諾契約書、最低動作環境、インストール手順などについては、rekordbox のオンラインサポートでもご覧いただけます。

1 コンピューターに取り込む

コンピューター内に音楽ファイルを用意します。

- rekordbox には音楽 CD から音楽ファイルを取り込む機能はありません。また、インターネットから音楽ファイルを購入する機能もありません。お持ちのソフトウェアを使ってコンピューター内に音楽ファイルをご用意ください。

2 コレクションに追加・解析する

音楽ファイルの拍位置 (ビート) を解析し、曲のテンポ (BPM) を測定します。

- 音楽ファイル (MP3、AAC、WAV、AIFF) のタグ情報も取り込めます。また、iTunes ライブラリから音楽ファイルの情報を取り込むこともできます。

3 rekordbox を使って準備する

各種ポイント情報 (キュー、ループ、ホットキュー) を設定します。

演奏リスト (プレイリスト、ホットキューバンクリスト) を作成します。

- 他のソフトウェアで作成したプレイリスト (M3U、M3U8) を取り込めます。また、[iTunes]または[rekordbox xml]からプレイリストを取り込むこともできます。

4 DJ 機器と組み合わせて演奏する

rekordbox で準備しておいた各種ポイント情報や演奏リストを使ってパイオニア製 DJ 機器で演奏できます。

- パイオニア製 DJ プレーヤーでの演奏履歴、演奏回数、ポイント情報などを rekordbox にフィードバックできます。

モバイルデバイスを使って演奏の準備をする

rekordbox で解析済みの音楽ファイル、rekordbox で作成したプレイリストやマイセッティングなどをモバイルデバイス(iPhone や Android™端末など)へ転送することができます。また、モバイルデバイスで修正した音楽データを rekordbox に反映できます。

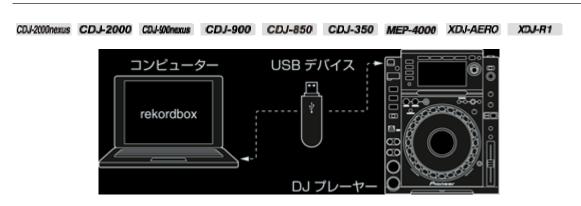
- モバイルデバイス側にも rekordbox をインストールする必要があります。モバイルデバイス用の rekordbox は、App Store や Google Play などのオンラインストアからモバイルデバイスにダウンロードできます。
- モバイルデバイスを用いて実現できる機能については、モバイルデバイス用の rekordbox のユーザーマニュアルをご覧ください。
- 無線 LAN の接続方法については、お使いのモバイルデバイス、コンピューターおよび無線 LAN 機器の説明書をご覧ください。

rekordbox と DJ 機器を組み合わせて使う

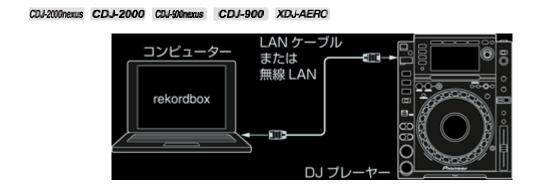
パイオニア製 DJ 機器をコンピューターに接続する前に、各 DJ 機器の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」および「接続する」を必ずお読みください。

パイオニア製 DJ プレーヤーで使える SD メモリーカードおよび USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

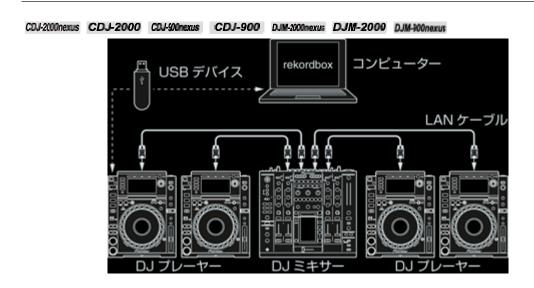
rekordbox と組み合わせて使用できるパイオニア製 DJ プレーヤーについての最新情報は、rekordbox のオンラインサポートでご案内しています。

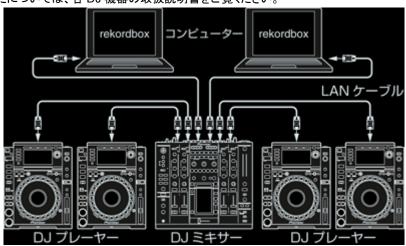
USB デバイスを使って演奏する(USB EXPORT)

DJ ブースにコンピューターを持ち込まずに、USB デバイス (フラッシュメモリーやハードディスク) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。

LAN につないで演奏する(LINK EXPORT)

DJ プレーヤーとコンピューターを LAN ケーブルや無線 LAN で接続すると、DJ プレーヤーに rekordbox の音楽ファイルやデータをリアルタイムでロードできます。

- 接続のしかたについては、各 DJ プレーヤーおよびコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

複数の DJ 機器を連結して演奏する(PRO DJ LINK)

PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーと DJ プレーヤーを LAN ケーブルを使って接続すると、USB デバイスに記録されている rekordbox の音楽ファイルやデータを最大 4 台の DJ プレーヤーと受け渡しできます。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。
- DJ ミキサーの代わりにスイッチングハブを使えます。
- 接続のしかたについては、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

rekordbox がインストールされたコンピューターを LAN ケーブルで PRO DJ LINK に接続すると、最大 4 台の DJ プレーヤーに rekordbox の音楽ファイルやデータをリアルタイムにロードできます。

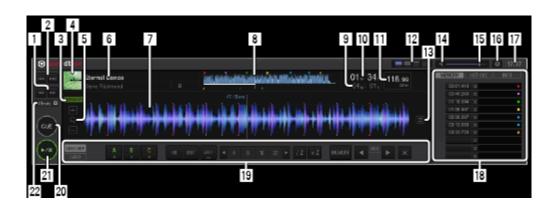
また、PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーと rekordbox がインストールされたコンピューターを LAN ケーブルを使って接続すると、DJ ミキサーに接続しているヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターできます。

- DJ ミキサーの代わりにスイッチングハブを使えます。
- PRO DJ LINK に接続できるコンピューターは 2 台までです。
- 接続のしかたについては、各 DJ 機器およびコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

各部の名前

プレーヤーパネル

1 プレーヤーモード

1 ◀◀/▶▶

- ▶▶をクリックすると、再生位置より先へスキップ移動します。
- ◀◀をクリックすると、再生位置より前へスキップ移動します。

2 |◀◀/▶▶|

頭出し（トラックサーチ）します。

- ▶▶|をクリックすると、次のトラックの先頭に進みます。
- |◀◀をクリックすると、再生中のトラックの先頭に戻ります。|◀◀を２回続けて押すと１つ前のトラックに戻ります。

3 **QUANTIZE**

キューやループを拍位置（ビートグリッド）に合せて設定します。

4 **アートワーク**

音楽ファイルのアートワーク画像を表示します。

5 +/ 🔍 /–

拡大波形表示を拡大または縮小します。

6 トラック情報表示

プレーヤーにロードしている音楽ファイルのタイトル、アーティスト、キーを表示します。

7 拡大波形表示

表示される波形を左右にドラッグすることで、再生位置を前後に移動できます。
音楽ファイルを解析して検出された拍位置が縦線で表示されます。

8 プレーイングアドレス ＆ 全体波形表示

現在の再生位置を細い垂直線と太い水平バーで表示します。

- 経過時間を表示しているときは、水平バーは左端から点灯していきます。
- 残り時間を表示しているときは、水平バーは左端から消灯していきます。

9 Total time

再生しているトラックの総時間を表示します。

10 時間表示 分 (M)、秒 (S)

時間表示部をクリックすると、経過時間表示と[－] (残り時間表示) を切り換えます。

11 BPM 表示

再生しているトラックの BPM (=Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。

12 プレーヤーパネル表示切替

プレーヤーパネルの表示/非表示を切り換えます。

- ：プレーヤーパネルに 1 プレーヤーを表示します。
- ：プレーヤーパネルに 2 プレーヤーを表示します。
- ：プレーヤーパネルに簡易的な 1 プレーヤーを表示します。
- ：プレーヤーパネルを非表示にします。

13 メニューボタン

クリックすると、拡大波形の色、再生しているトラックの解析、エクスポートなどを行うメニュー画面が表示されます。

14 ミュート

ボタンを押すと音声をミュートします。もう一度押すとミュートを解除します。

15 ボリューム

左右にドラッグして音量を調節します。

16 環境設定

[環境設定]画面を開きます。

17 時刻表示

コンピューターの現在の時刻を表示します。

18 再生トラック補助情報パネル

プレーヤーにロードしている音楽ファイルの曲情報や、[MEMORY]と[HOT CUE]のコメントなどが表示されます。

19 ファンクションパネル

[CUE/LOOP]と[GRID]を切り換えて表示します。

20 CUE

キューを設定します。

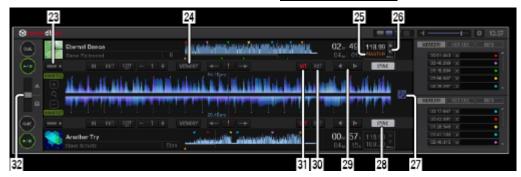
21 ▶/II

再生または一時停止します。

22

◀◀または▶▶をクリックしたときのスキップする拍数を設定します。

■ 2 プレーヤーモード

- ここで説明されていない項目については、1 プレーヤーモードをご覧ください。

23 ファンクションパネル表示/非表示ボタン

ファンクションパネルを表示または非表示にします。

24 MEMORY

設定したキューまたはループを保存します。

25 BEAT SYNC MASTER

ビートシンク機能でのマスタープレーヤーに[MASTER]と表示されます。

26 TEMPO 調整

トラックの再生速度を調整します。

27

クリックすると、プレーヤーで再生中の 2 曲を、相性の良い曲として登録できます。

28 BEAT SYNC

ビートシンク機能をオンします。

29 ピッチベンド

プレイ中に押し続けるとピッチベンド動作します。ボタンを押し続けると加速され、ボタンを押し続けると減速されます。

30 TEMPO RESET

元々の再生速度で再生します。

31 **MASTER TEMPO**

マスターテンポをオン/オフします。

32 **クロスフェーダー**

プレーヤーA と B のミックス音声レベルを調整します。

再生トラック補助情報パネル

■ **MEMORY** 表示パネル

保存されたキューまたはループを一覧表示します。

1

ループをメモリーすると表示されます。
クリックすると、アクティブループに設定され、赤色で表示されます。

2 **MEMORY**

クリックすると、再生トラック補助情報パネルに[MEMORY]パネルを表示します。

3 **キュー/ループ呼び出しボタン**

保存されたキューまたはループの時間 (分:秒:ミリ秒) を表示します。
クリックすると、再生位置がクリックしたキューまたはループに移動します。

4 **キュー/ループ削除ボタン**

保存されたキューまたはループを削除します。

5 **コメント**

保存されたキューまたはループのコメントを編集/表示します。
右クリックからキューマーカーの色を変更します。

HOT CUE 表示パネル

登録されたホットキューを一覧表示します。

1 **[A]、[B]、[C]**

ホットキューの[A]、[B]、[C]が表示されます。緑色のときはキューが記録されており、オレンジ色のときはループが記録されていることを示します。灰色のときは何も設定されていないことを示します。

2 **ホットキュー/ホットキュー記録/呼び出しボタン**

記録したホットキューの時間 (分:秒:ミリ秒) を表示します。クリックすると、記憶されたホットキューに再生位置が移動します。
ホットキューが記録されていない場合は、クリックするとホットキューを記録します。

3 **ホットキュー削除ボタン**

記録したホットキューを削除します。

4 **HOT CUE**

クリックすると、再生トラック補助情報パネルに HOT CUE 表示パネルを表示します。

5 **コメント**

記録したホットキューのコメントを編集/表示します。

INFO 表示パネル

プレーヤーにロードしているトラックの情報を表示します。

1 トラック**情報表示**

ロードされた曲の詳細な情報を表示します。

2 **INFO**

クリックすると、再生トラック補助情報パネルに INFO 表示パネルを表示します。

ファンクションパネル

[**CUE/LOOP**]と[**GRID**]を切り換えて表示します。

CUE/LOOP パネル

ホットキュー、ループ、キューの保存などを設定します。

1 **CUE/LOOP**

クリックするとファンクションパネルに[**CUE/LOOP**]パネルを表示します。

2 **HOT CUE DELETE**

記録したホットキューを削除します。

3 **HOT CUE (A、B、C)**

ホットキューを記録します。

4 **LOOP IN/LOOP OUT**

リアルタイムキューやループイン/ループアウトを設定します。

5 **RELOOP/EXIT**

ループ再生を解除または再開します。

6 **オートビートループ (1/32、1/16、1/8、1/4、1/2、1、4、8、16、32)**

ループの長さを拍数で指定します。

7 **/2**

再生しているループの長さを 1/2 倍にします。

8 **x2**

再生しているループの長さを 2 倍にします。

9 **MEMORY**

設定したキューまたはループを保存します。

10

保存したキューまたはループに移動します。

- ▶をクリックすると、再生位置より先の保存したキューまたはループに移動します。
- ◀をクリックすると、再生位置より前の保存したキューまたはループに移動します。

11 **キュー/ループ削除ボタン**

保存したキューまたはループを削除します。

GRID パネル

ビートグリッドを調整します。

1 GRID

クリックするとファンクションパネルに[**GRID**]パネルを表示します。

2

ビートグリッドに合せてメトロノーム音を鳴らしながら再生します。

3

[**GRID**]パネルでの操作を元に戻します。

4

ビートグリッドの間隔を 1 msec 縮めます。

5

ビートグリッドの間隔を 1 msec 広げます。

6

ビートグリッドを左に 1 msec 移動します。

7

拡大波形に表示されているビートグリッド全体がスライドして、最も近い拍が現在の再生位置、つまり波形中央の白い縦線に重なります。

8

ビートグリッドを右に 1 msec 移動します。

拍数 (BPM) を 2 倍にします (ビートグリッドの間隔は 1/2 倍に縮まります)。

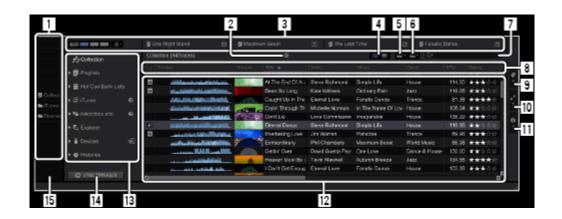
拍数 (BPM）を 1/2 倍にします (ビートグリッドの間隔は 2 倍に広がります)。

ビートグリッドを調整するために一時的にマークした基準を解除します。

ビートグリッドを調整するための基準を一時的にマークします。

入力した拍数 (BPM) に応じてビートグリッドの間隔が変化します。

ビートに合わせてクリックすると、BPM を手動で設定できます。

ブラウザーパネル

1 ショートカット

ツリービュー内のフォルダーまたはプレイリストをドラッグして、ショートカットを登録できます。

2 プレイリストパス表示

トラックリストで選択している音楽ファイルがプレイリストに追加されている場合、をクリックするとプレイリストのパスが一覧表示されます。

3 プレイリストパレット

をクリックすると、タグリストまたは割り当てられた複数のプレイリストを表示することができます。

- 4 つのパレットのうち、右側の 3 つがプレイリスト用、左端がタグリスト用になります。

4 アートワーク表示切換え

アートワークの表示パターンを切り換えます。

: アートワークの上部を表示します。

: アートワーク全体を表示します。

5 カテゴリーフィルター

カテゴリーフィルターを使って音楽ファイルを探します。

6 マイタグフィルター

音楽ファイルに付加したマイタグを絞り込み条件として、音楽ファイルを探します。

7 検索フィルター

検索フィルターを使って音楽ファイルを探します。

8 項目名

情報をソートして音楽ファイルを探します。
項目名の表示/非表示と並び順を変更できます。

9 マイタグ

クリックすると、トラックリストの右側にマイタグの設定画面が表示されます。

10 RELATED TRACKS

クリックすると、トラックリストの右側に、次にかける曲の候補画面が表示されます。

11 Info

クリックすると、トラックリストの右側に、トラックリストで選択中の音楽ファイルの情報画面が表示されます。

12 トラックリスト

ツリービューで選択されたプレイリスト内の音楽ファイルを表示します。

13 **ツリービュー**

トラックリストに表示する項目を選択します。

Collection	rekordbox にインポートした全音楽ファイルを表示します。
Playilsts	DJ プレイの用途に応じたプレイリストを作って、rekordbox の音楽コレクションを整理しておくことができます。
H. Cue Bank	ホットキューバンクには、別々の曲のホットキューポイント[A]、[B]、[C]を登録して管理できます。
iTunes	iTunes のライブラリを参照します。
rekordbox xml	rekordbox xml フォーマットの xml を参照します。
Explorer	コンピューター内や USB メモリーなどの外部デバイス内のフォルダー階層を表示します。
Device	USB デバイスや SD カード、モバイルデバイスを表示します。
Histories	CDJ で再生した履歴を表示します。

[H. Cue Bank]、[iTunes]、[rekordbox xml]、[Explorer]は[環境設定] > [表示] > [レイアウト] で表示/非表示を設定できます。

14 **同期マネージャー**

クリックすると、同期マネージャー画面が表示されます。
rekordbox と外部ライブラリとの同期設定をします。

15 **LINK**

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器 (CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、XDJ-AERO など) との通信を可能な状態にします。

リンクステータスパネル

1 LINK

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、XDJ-AERO など）との通信を終了します。

2 シンクマスター

DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など）でビートシンク機能を使って演奏するときに、rekordbox で指定したマスターBPM (テンポ) を使って同期させます。

3 マスターBPM

シンクマスターに用いられるテンポ（BPM）を指定します。

4 リンクステータス

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、XDJ-AERO など）の状態をブラウザーパネルの下部に表示します。

rekordbox を起動する

コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してから rekordbox をお使いください。

Mac OS X のとき

Finder で[アプリケーション]フォルダーを開けてから[rekordbox 3]をダブルクリックする

Windows® 8.1、Windows® 8、Windows® 7 のとき

デスクトップ上の [rekordbox 3] アイコン(ショートカット)をダブルクリックする

音楽ファイルをコレクションに追加する

コレクションとは、rekordbox が管理する音楽ファイルです。

コンピューター内にある音楽ファイルを解析して rekordbox の音楽コレクションとして登録することで、rekordbox で使用できるようになります。

音楽ファイルをコレクションに追加する

1　**ツリービューの[コレクション]をクリックする**

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

2　**Finder または Windows エクスプローラーを開いて、音楽ファイルや音楽ファイルを含んだフォルダーをトラックリストにドラッグ＆ドロップする。**

音楽ファイルがコレクションに追加され、音楽ファイルのタグ情報が読み込まれて表示されます。音楽ファイルの波形情報の解析が始まると、解析中の音楽ファイルの左に 51% が表示され、解析が終わると消えます。音楽ファイルの波形情報を解析するモードとして[ノーマル]と[ダイナミック]の 2 つの選択肢があります。

- [ファイル]メニューから[インポート]を選んで、ファイルやフォルダーをインポートすることもできます。
- WAVE ファイルをコレクションに追加したときは、タグ情報が表示されないことがあります。音楽ファイルから読み込めるタグ情報は、MP3/AIFF ファイルの ID3 タグ（v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0)、M4A ファイルのメタタグ、および WAVE ファイルの RIFF INFO です。
- 音楽ファイルの波形情報の解析が終了すると、プレーヤーパネルで拍位置（ビート）とテンポ（BPM）を確認することができます。また、ブラウザーパネルの[プレビュー]に波形が表示されます。
- 音楽ファイルの波形情報を解析すると同時にキー（音階）を検出できます。
- コレクションから音楽ファイルを取り除くときは、[コレクション]で音楽ファイルを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。音楽ファイルがコレクションから取り除かれますが、音楽ファイルそのものはコンピューターから削除されません。

音楽ファイルの情報を編集する

1　ツリービューの[コレクション]をクリックする

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

2　をクリックする

トラックリストの右側に[情報]が表示されます。

3　[コレクション]で音楽ファイルをクリックする

[情報]に[サマリー]タブが表示されます。

4　[情報]で[情報]タブをクリックする

[情報]に[情報]タブが表示されます。

5　情報を編集する

音楽ファイルの情報が変更されます。

音楽ファイルにアートワーク画像を追加する

音楽ファイルに追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG または PNG です (拡張子: “jpg”, “jpeg”, “png”)。

1　[情報]で[アートワーク]タブをクリックする

2　Finder/Windows エクスプローラーを開く

3　画像ファイルを Finder/Windows エクスプローラーから[アートワーク]タブにドラッグする

音楽ファイルにアートワーク画像が追加されます。

音楽ファイルのタグ情報を再読み込みする

他のソフトウェアを使って更新された音楽ファイルのタグ情報を rekordbox にも反映させるには、音楽ファイルからタグ情報を再読み込みする必要があります。

[情報]の右上にある をクリックする

音楽ファイルのタグ情報が読み込まれます。

音楽ファイルのタグ情報を再読み込みすると、[情報]タブと[アートワーク]タブで編集した内容は再読み込みしたタグ情報に置き換わります。

外部ライブラリを参照する

iTunes ライブラリを参照する

コンピューターに iTunes がインストールされている場合には、rekordbox から iTunes のライブラリを利用することができます。

- iTunes のライブラリが表示されない場合には、以下の設定をしてください。
  - [環境設定]画面の[表示]にある[Treeview]の[iTunes]をチェックしてください。
  - [環境設定]画面の[ブリッジ]にある[iTunes]で、ライブラリファイルを設定してください。
- ツリービューの[iTunes]の右側にあるをクリックすると、最新の iTunes ライブラリが表示されます。

iTunes ライブラリから音楽ファイルを追加する

iTunes のライブラリの音楽ファイルを解析して rekordbox の音楽コレクションとして登録できます。

1 **ツリービューで[iTunes]の左にあるをクリックしてから、[すべての楽曲]をクリックする**

iTunes の音楽ファイルの一覧がトラックリストに表示されます。

2 **トラックリスト内にある iTunes の音楽ファイルを[コレクション]にドラッグする**

音楽ファイルが[コレクション]に追加されます。

iTunes ライブラリの情報を再読み込みする

更新された iTunes ライブラリの情報を rekordbox にも反映させるには、再読み込みする必要があります。

1　**ツリービューの[コレクション]をクリックする**

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

2　**音楽ファイルを右クリックして、[iTunes 上の情報の読み込み]を選ぶ**

iTunes ライブラリの情報が読み込まれます。

> iTunes ライブラリの情報を再読み込みすると、[情報]の[情報] タブで編集した内容は再読み込みした情報に置き換わります。

rekordbox xml を参照する

rekordbox xml フォーマットで記述されたファイルをインポートすることで rekordbox xml ライブラリを利用することができます。

1　**rekordbox xml を指定する**

[環境設定] > [ブリッジ] > [rekordbox xml]の[インポートされているライブラリ]にある[Browse]をクリックして、xml ファイルを選択する。

2　**rekordbox xml をツリービューに表示する**

[環境設定] > [表示]をクリックし、[レイアウト]の[rekordbox xml]にチェックを入れる。
ツリービューに rekordbox xml が表示されます。

rekordbox xml から音楽ファイルを追加する

1　ツリービューで[rekordbox xml]の左にある▶をクリックしてから、[すべての楽曲]をクリックする

rekordbox xml の音楽ファイルの一覧がトラックリストに表示されます。

2　トラックリスト内にある rekordbox xml の音楽ファイルを[コレクション]にドラッグする

音楽ファイルが[コレクション]に追加されます。

コンピューター内および USB メモリなどの外部デバイス内のフォルダーや音楽ファイルを参照する

1　ツリービューで[エクスプローラ]の左にある▶をクリックする

ツリービューにコンピューター内および USB メモリーなど外部デバイス内のフォルダーが表示されます。

- ツリービューに[エクスプローラ]が表示されない場合には、[環境設定]画面の[表示] > [レイアウト]で設定してください。

2　[エクスプローラ]内のフォルダーを選択する

選択されたフォルダー内にある音楽ファイルが、トラックリストに表示されます。

コンピューター内の音楽ファイルを追加する

1　[エクスプローラ]内のフォルダーを選択する

トラックリストにフォルダー内の音楽ファイルが表示されます。

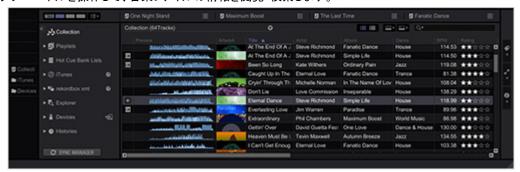
- ツリービューに[エクスプローラ]が表示されない場合には、[環境設定]画面の[表示] > [レイアウト]で設定してください。

2　トラックリストの音楽ファイルを[コレクション]にドラッグする

音楽ファイルが[コレクション]に追加されます。

- [エクスプローラ]に表示されているフォルダー内ではインポート済みの音楽ファイルに が表示されます。

音楽ファイルを検索する

ブラウザーパネルを操作して、音楽ファイルの情報を閲覧・検索します。

- 好みのタグを作成し、そのタグを条件に音楽ファイルを絞り込むこともできます。

カテゴリーフィルターを使って音楽ファイルを探す

1 **ツリービューの[コレクション]をクリックする**

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

2 **トラックリストの上部にあるをクリックする**

トラックリストの上部にカテゴリーカラム ([ジャンル]、[アーティスト]、および[アルバム]) が表示されます。

3 **カテゴリーを選んでクリックする**

選んだカテゴリーの音楽ファイルだけがトラックリストに表示されます。

検索フィルターを使って音楽ファイルを探す

1 **ツリービューの[コレクション]をクリックする**

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

2 **検索フィルターの左端にあるをクリックする**

検索できる列の名称 (項目名) のリストがポップアップされます。

3 **ポップアップされたリストの中から検索したい列の名称 (項目名) を選んでクリックする**

4 **コンピューターのキーボードで検索フィルターに文字を入力する**

手順 3 で選んだ列の中を検索範囲として、入力した文字列が含まれている音楽ファイルだけをトラックリストに表示します。

- 入力した文字を削除するか、をクリックすると元の表示状態に戻ります。

情報をソートして音楽ファイルを探す

タイトル ▲ アーティスト アルバム ジャンル

1 ツリービューの[コレクション]をクリックする

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

2 ソートしたい列の見出し（項目名）をクリックする

音楽ファイルの並び順が替わります。

- クリックするたびに昇順/降順が切り換わります。

3 コンピューターのキーボードで文字を入力する

入力した文字から始まる音楽ファイルにカーソルが移動します。

- 続けて文字を入力すると、入力した文字列から始まる音楽ファイルにカーソルが移動します。

項目名の表示/非表示と並び順を変更する

1 ツリービューの[コレクション]をクリックする

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

2 列の見出し（項目名）を右クリックする

表示可能な列の名称（項目名）のリストがポップアップされます。

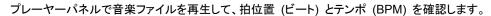
3 ポップアップされたリストの中から表示を切り換えたい列の名称（項目名）を選んでクリックする

項目の表示/非表示が切り換わります。

4 列の見出し（項目名）をドラッグして左右に移動する

項目の並び順が替わります。

音楽ファイルを試聴する

プレーヤーパネルで音楽ファイルを再生して、拍位置（ビート）とテンポ（BPM）を確認します。

楽曲を再生する

1　トラックリストから楽曲をプレーヤーにドラッグ＆ドロップする

楽曲がプレーヤーにロードされます。

2　[▶/II]をクリックする

再生が始まります。

再生位置を移動する

1　[4Beats ▼]をクリックする

移動量の設定メニューが表示されます。

2　設定メニューから移動量を選択する

[◀◀][▶▶]をクリックしたときの移動量が設定されます。

3　[◀◀][▶▶]をクリックする

再生位置が移動します。

- ループ再生しているときに◀◀ ▶▶をクリックすると、再生位置だけでなくループインポイントとループアウトポイントも移動します。

■ブラウザーパネルで簡易的に試聴する

[プレビュー]コラムの波形をクリックして再生する

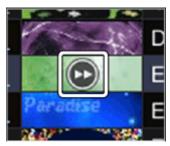
[プレビュー]コラムの波形をクリックすると、クリックした位置から音声を再生します。波形の左側にある停止ボタンをクリックすると再生を停止します。

プレーヤーパネルで再生中に**[プレビュー]**コラムで再生すると、プレーヤーパネルの再生は一時停止します。

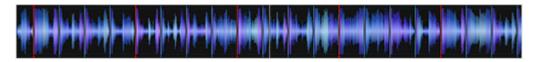
[アートワーク]コラムのアートワークをクリックして再生する

[アートワーク]コラムのアートワークをクリックすると、その音楽ファイルの先頭から音声を再生します。

- マウスカーソルをアートワークの外に移動すると再生を停止します。

再生中にアートワークをクリックすると再生位置の 30 秒後に移動します。

プレーヤーパネルで再生中に**[アートワーク]**コラムで再生すると、プレーヤーパネルの再生は一時停止します。

■ 拡大波形上で Play/Pause、CUE を操作する

拡大波形上のマウス操作で、[▶/II]ボタン、[**CUE**]ボタンをクリックしたのと同じ動作が行えます。

- 拡大波形上でクリックすると[▶/II]ボタンをクリックしたときと同じ動作になります。
- 拡大波形上で右クリックすると[**CUE**]ボタンをクリックしたときと同じ動作になります。

拍位置を確認する（ビートグリッド）

1　画面の右上にある　の　をクリックする

プレーヤーパネルに 1 プレーヤーが表示されます。

2　音楽ファイルをブラウザーパネルからプレーヤーパネルにドラッグする

音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされます。

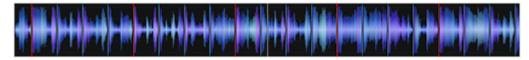
3　[▶/II]をクリックする

再生が始まります。

- BPM 表示には、音楽ファイルを追加したときに測定されたテンポが表示されます。
- 拡大波形表示には、音楽ファイルを追加したときに検出された拍位置が白色の線で表示されます（ビートグリッド)。
- 拡大波形表示には、小節の頭の拍が曲のはじめから終わりまで 4 拍ごとにビートグリッド上に赤色の線で表示されます。

> 古いバージョンの rekordbox (1.x.x) で追加した音楽ファイルには ? が表示されます。新しいバージョンの rekordbox (3.x.x) で音楽ファイルの解析をやり直すと ? の表示が消えます。

拍位置を調整する（アジャストビートグリッド）

拡大波形表示に拍位置が白線で表示されます。拍位置線（ビートグリッド）を以下の手順で修正できます。

1　再生中に[▶/II]をクリックする

再生が一時停止します。

2　拡大波形表示を左右にドラッグする

拡大波形表示の白い中心線に拍位置 (ビート) が合うように調整します。

3　[GRID]をクリックする

ファンクションパネルにビートグリッド調整メニューのアイコンが表示されます。

拡大波形表示上にあるビートグリッドが白色の線から青色の線に変わり、編集できるようになります。

4　をクリックする

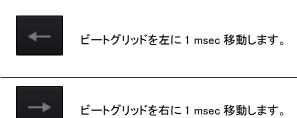
拡大波形表示の中央の白い垂直線を基準にして、ビートグリッド全体がスライドします。

また、中央の拍が小節の頭の拍になり、赤い線で表示します。

- 任意の位置より後のビートグリッドをスライドしたい場合は、 をクリックします。この操作を行うと、白い垂直線より前のビートグリッドは固定され、白い垂直線より後のビートグリッドだけがスライドします。

5　[GRID]をクリックする

ビートグリッド調整メニューが閉じます。

■ その他のアイコン（ビートグリッド調整メニュー）

アイコン	説明
	ビートグリッドを左に 1 msec 移動します。
	ビートグリッドを右に 1 msec 移動します。
	ビートグリッドの間隔を 1 msec 縮めます。
	ビートグリッドの間隔を 1 msec 広げます。
×2	拍数（BPM）を 2 倍にします（ビートグリッドの間隔は 1/2 倍に縮まります）。
/2	拍数（BPM）を 1/2 倍にします（ビートグリッドの間隔は 2 倍に広がります）。
	ビートグリッドを調整するための基準を一時的にマークします。マークより後ろのビートグリッドだけが、マークを基準にしてスライドします。マークより前のビートグリッドは白色の点、マークより後ろのスライドしたビートグリッドは青色の縦線で表示されます。 マークを解除するまでは、ビートグリッド調整メニューでの操作はマークより後ろの青色の縦線のビートグリッドだけに反映されます。
	ビートグリッドを調整するためにー時的にマークした基準を解除します。マークを解除すると、音楽ファイル全体のビートグリッドの表示が青色の縦線に戻ります。ビートグリッド調整メニューでの操作は、音楽ファイル全体のビートグリッドに反映されます。
	ビートグリッド調整メニューでの操作を元に戻します。
OFF	ビートグリッドに合せてメトロノーム音を鳴らしながら再生します。メトロノーム音のオン/オフと音量（大、中、小）を切り換えられます。
118.99 BPM	入力した拍数（BPM）に応じてビートグリッドの間隔が変化します。
TAP	[TAP]ボタンをクリックして BPM を手動で設定します。

拍位置の検出およびテンポの測定をやり直す

1　[ファイル]メニュー＞[環境設定]を選んで[環境設定]画面を開き、曲解析モードを設定する

音楽ファイルの波形情報を解析するモードとして[ノーマル]と[ダイナミック]　の 2 つの選択肢があります。

2　拍位置（ビート）の検出およびテンポ（BPM）を測定したい音楽ファイルを右クリックして、[トラックを解析]を選ぶ

音楽ファイルの波形情報が解析されます。拍位置の検出およびテンポが測定されてコンピューターに保存されます。

音楽ファイルの解析をやり直すと、拍位置を調整する（アジャストビートグリッド）で設定したビートグリッドが、[トラックを解析]で新しく解析されたビートグリッドで上書きされます。

ビートグリッドを利用する（クオンタイズ）

プレーヤーパネルでキューやループを設定するときに、キューポイントやループポイントが拍位置（ビート）からずれることなく簡単に設定できます。

1　プレーヤーパネルの[**QUANTIZE**]をクリックする

プレーヤーパネルの[QUANTIZE]が点灯します。

2　キューやループを設定する

■ DJ プレーヤーや DJ ミキサーでクオンタイズ機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、XDJ-AERO、XDJ-R1 など）でキュー操作やループ演奏時のクオンタイズ機能で使用されます。さらに、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900 など）と DJ ミキサー（DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus など）が LAN ケーブルで接続されている場合、エフェクト演奏時のクオンタイズ機能で使用できます。

- DJ プレーヤーや DJ ミキサーでのクオンタイズ機能の使用方法については、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

キーを検出する

キー（音階）を検出したい音楽ファイルを右クリックして、[キーを検出]を選ぶ

音楽ファイルの波形情報が解析されます。検出したキーは、[コレクション]や[情報]で確認できます。

音楽ファイルをコレクションに追加するときに同時にキー(音階)を検出することもできます。

キューまたはループを設定する

頭出しのポイント (キューポイント) またはループ再生のポイント (ループイン/ループアウト) を設定します。

キューポイントを設定する

1　再生中に[▶/II]をクリックする

再生が一時停止します。

2　[CUE]をクリックする

一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。[**CUE**]が点灯します。

- [▶/II]をクリックすると、キューポイントから再生が始まります。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。
- 別の音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされると、設定していたキューポイントは解除されます。設定したキューポイントは保存することもできます。

キューポイントに戻る（バックキュー）

再生中に[CUE]をクリックする

設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。[**CUE**]が点灯します。

- [▶/II]をクリックすると、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）

キューポイントに戻ったあと[CUE]を押し続ける（マウスの左ボタンを押したまま離さない）

キューポイントから再生が始まります。

[CUE]を押し続けている間だけ再生が続き、放すとキューポイントに戻って一時停止状態になります。

再生しながらキューポイントを設定する（リアルタイムキュー）

再生中にキューポイントに設定したい位置で[LOOP IN]をクリックする

クリックしたときに再生しているポイントがキューポイントに設定されます。

プレーヤーパネルの[QUANTIZE]をクリックすると点灯します。
プレーヤーパネルの[QUANTIZE]を点灯させてからリアルタイムキューを設定すると、[LOOP IN]をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、キューポイントを自動で合わせます。

ループ再生を開始する

1　**再生中にループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で[LOOP IN]をクリックする**

クリックしたときに再生しているポイントがループインポイントに設定されます。

- あらかじめ設定されているキューポイントをループインポイントにするときは、この操作は必要ありません。

2　**ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で[LOOP OUT]をクリックする**

クリックしたときに再生しているポイントがループアウトポイントに設定され、ループインポイントに戻ってループ再生が始まります。

- 新しいループポイントを設定すると、以前に設定したループポイントは解除されます。
- 別の音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされると、設定していたループポイントは解除されます。設定したループポイントは保存することもできます。

プレーヤーパネルの[QUANTIZE]をクリックすると点灯します。
プレーヤーパネルの[QUANTIZE]を点灯させてからループを設定すると、[LOOP IN]および[LOOP OUT]をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、ループポイントを自動で合わせます。

ループ再生を解除する（ループイグジット）

ループ再生中に[EXIT]をクリックする

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らずに、そのまま再生が続きます。

ループ再生を再開する（リループ）

ループ再生を解除したあと、再生中に[RELOOP]をクリックする

前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生が始まります。

ループの長さを拍数で指定する（オートビートループ）

再生している音楽ファイルの BPM に合わせて、1/32 拍から 32 拍の長さのループ再生が始まります。

再生中にループの長さとして設定したい拍数をクリックする

クリックしたときに再生しているポイントがループインポイントに設定され、選択された拍数でループアウトポイントが設定されます。

- ループ再生中にオートビートループを設定すると、ループインポイントはそのままでループアウトポイントだけが移動します。

プレーヤーパネルの[QUANTIZE]をクリックすると点灯します。
プレーヤーパネルの[QUANTIZE]を点灯させてからオートビートループを設定すると、設定したい拍数をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、ループポイントを自働で合わせます。

ループを切り出して WAVE ファイルとして保存する

ループを切り出してWAVEファイルとして保存するにはループ再生中にプレーヤーパネルの拡大波形表示の右にあるをクリックして、[ループを WAV ファイルとして保存]を選んでください。

- 切り出されたループ素材が WAVE ファイル(サンプリング周波数 48 kHz/量子化ビット数 16 bit) として保存されるとともに、rekordbox の音楽コレクションに追加されます。保存時に指定した WAVE ファイルのファイル名が、[コレクション]のタイトル欄に表示されます。
- 保存されたループ素材（WAVE ファイル）の利用のしかたについては、各 DJ 機器（RMX-1000、XDJ-AERO など）の取扱説明書をご覧ください。

キューまたはループを保存する

設定したキューポイントやループポイントを保存しておき、あとから呼び出せます。保存できるキューポイントまたはループポイントは、1 つの音楽ファイルにつき最大 10 個です。

保存されたキューポイントやループポイントは DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、CDJ-850、MEP-4000 など）で呼び出して演奏できます。

設定したキューまたはループを保存する

1　**キューポイントまたはループポイントを設定する**

2　**[MEMORY]をクリックする**

保存されたキューポイントまたはループポイントの時間（分:秒:ミリ秒）が再生トラック補助情報パネルに表示されます。

- ループポイントを保存するときは、ループ再生中に[MEMORY]をクリックします。再生トラック補助情報パネルにループポイントの時間（分:秒:ミリ秒）が表示されます。

保存されたキューまたはループを呼び出す

1　**キューポイントまたはループポイントを呼び出したい音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする**

再生トラック補助情報パネルの MEMORY パネルに保存されたキューポイントまたはループポイントの時間 (分:秒:ミリ秒) が表示されます。

2　**頭出ししたいキュー/ループ呼び出しボタンをクリックする**

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

- [▶]をクリックすると、再生位置より先の保存したキューまたはループに移動します。
- [◀]をクリックすると、再生位置より前の保存したキューまたはループに移動します。

3　**[▶/II]をクリックする**

再生またはループ再生が始まります。

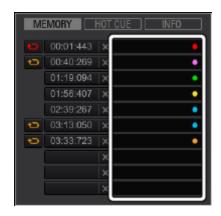
- 保存されているキューポイントまたはループポイントを削除するときは、削除したいキュー/ループ呼び出しボタンの右にある[×]をクリックします。

保存したループをアクティブループに設定する

ループを保存するとキュー/ループ呼び出しボタンの左に、ループを示すアイコン が表示されます。
保存されたループの 1 つをアクティブループに設定するには をクリックしてください。
アクティブループに設定されると、 で表示されます。

- アクティブループの利用のしかたについては、各 DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus など) の取扱説明書をご覧ください。

保存したキュー/ループにコメントを付加する

再生トラック補助情報パネルのキュー/ループ呼び出しボタンの右側にあるコメント欄にコメントを入力できます。コメント欄をクリックすると文字入力状態になりますので、コンピューターのキーボードで文字を入力し、[Enter]キーを押してください。

波形上部に表示されるキューマーカーの色を変更する

波形上部に表示されるキューマーカーの色を変更できます。

再生トラック補助情報パネルのキュー/ループ呼び出しボタンの右側にあるコメント欄で右クリックし、色選択メニューの中から選択してください。

- キューに付けたコメントや色は、デバイスにエクスポートできません。

ホットキューを記録する

キューポイントやループポイントをホットキューに記録しておき、瞬時に再生が始められます。記録できるホットキューは、1 つの音楽ファイルにつき最大 3 個です。

記録されたホットキューは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、XDJ-R1 など）で呼び出して演奏できます。

キューまたはループをホットキューに記録する

再生中または一時停止中にホットキューに記録したい位置で、[HOT CUE] (A、B、C) のいずれかをクリックする

クリックしたときに再生（または一時停止）しているポイントがホットキューとして記録されます。記録されたポイントが[HOT CUE]に表示されます。

- ループ再生中に[HOT CUE]をクリックすると、再生中のループポイントがホットキューとして記録されます。

記録されたホットキューポイントの時間（分:秒:ミリ秒）が再生トラック補助情報パネルに表示されます。

プレーヤーパネルの[QUANTIZE]をクリックすると点灯します。
プレーヤーパネルの[QUANTIZE]を点灯させてからホットキューを設定すると、[HOT CUE] をクリックしたときに再生しているポイントに近いビートグリッドに、ホットキューポイントを自動で合わせます。

記録されたホットキューを呼び出して再生する

ホットキュー呼び出しボタンをクリックする

そのボタンに記録されているポイントから瞬時に再生が始まります。

- 記録されているポイントを削除したいときは[ ]をクリックします。

すでに保存されているキューまたはループを呼び出してホットキューに記録する

1　キューポイントまたはループポイントが保存されている音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする

キュー/ループ呼び出しボタンにキューポイントまたはループポイントが表示されます。

2　ホットキューに記録したいキュー/ループ呼び出しボタンをクリックする

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

3　記録したい[HOT CUE] (A、B、C) のいずれかをクリックする

記録されたポイントが[HOT CUE]に表示されます。

ホットキューにコメントを付加する

再生トラック補助情報パネルの HOT CUE パネルにあるコメント欄にコメントを付加することができます。

コメント欄をクリックすると文字入力が可能な状態になりますので、コンピューターのキーボードで文字を入力し、[Enter]キーを押してください。

- ホットキューに付けたコメントは、デバイスにエクスポートできません。

プレイリストを使って音楽ファイルを整理する

DJ プレイの用途に応じたプレイリストを作って、rekordbox の音楽コレクションを整理しておくことができます。

新たにプレイリストを作成する

1　**プレイリストまたはプレイリストフォルダーの右側にある ⊕ をクリックする**

[プレイリスト]の下に新規のプレイリスト([無題のプレイリスト])が追加されます。

2　**コンピューターのキーボードでプレイリスト名を入力して、[Enter]キーを押す**

プレイリスト名が変更されます。

3　**ツリービューの[コレクション]をクリックする**

[コレクション]の音楽ファイルの一覧が、トラックリストに表示されます。

4　**音楽ファイルを上記で作成したプレイリストへドラッグする**

音楽ファイルがプレイリストに追加されます。

- [iTunes]、[タグリスト]、または他のプレイリストから音楽ファイルをドラッグしても追加できます。
- プレイリストを削除するときは、プレイリストを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。

- プレイリストから音楽ファイルを取り除くときは、音楽ファイルを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。

プレイリストファイルを読み込んでプレイリストを追加する

読み込めるプレイリストのファイル形式は、M3U と M3U8 です (拡張子 : “m3u”, “m3u8”)。

1 **[ファイル]メニュー > [インポート] > [プレイリストをインポート]を選ぶ**

[プレイリストをインポート]画面が開きます。

2 **プレイリストファイルが保存されているフォルダーおよびファイル名を選んで、[開く]をクリックする**

プレイリストが[プレイリスト]に追加されます。

プレイリストを構成する音楽ファイルのタグ情報が読み込まれて表示され、音楽ファイルの解析が始まります。

外部ライブラリを参照する

iTunes ライブラリを参照する

コンピューターに iTunes がインストールされている場合には、rekordbox から iTunes のライブラリを利用することができます。

- iTunes のライブラリが表示されない場合には、以下の設定をしてください。
  - [環境設定]画面の[表示]にある[Treeview]の[iTunes]をチェックしてください。
  - [環境設定]画面の[ブリッジ]にある[iTunes]で、ライブラリファイルを設定してください。
- ツリービューの[iTunes]の右側にあるをクリックすると、最新の iTunes ライブラリが表示されます。

iTunes ライブラリからプレイリストを追加する

iTunes のライブラリのプレイリストをインポートして rekordbox のプレイリストとして登録できます。

1 **ツリービューで[iTunes]の左にあるをクリックしてから、[プレイリスト]の左にあるをクリックする**

ツリービューに iTunes のプレイリストの一覧が表示されます。

2　**iTunes のプレイリストを[プレイリスト]以下の階層にドラッグする**

音楽ファイルが[コレクション]に追加されます。

iTunes のプレイリストが rekordbox のプレイリストとして追加されます。

■ rekordbox xml を参照する

rekordbox xml フォーマットで記述されたファイルをインポートすることで rekordbox xml ライブラリを利用することができます。

1　**rekordbox xml を指定する**

[環境設定] > [ブリッジ] > [rekordbox xml]の[インポートされているライブラリ]にある[Browse]をクリックして、xml ファイルを選択する。

2　**rekordbox xml をツリービューに表示する**

[環境設定] > [表示]をクリックし、[レイアウト]の[rekordbox xml]にチェックを入れる。

ツリービューに rekordbox xml が表示されます。

■ rekordbox xml からプレイリストを追加する

rekordbox xml ライブラリのプレイリストをインポートして rekordbox のプレイリストとして登録できます。

1　**ツリービューで[rekordbox xml]の左にある▶をクリックしてから、[プレイリスト]の左にある⊞をクリックする**

ツリービューに rekordbox xml のプレイリストの一覧が表示されます。

2　**rekordbox xml のプレイリストを[プレイリスト]以下の階層にドラッグする**

rekordbox xml のプレイリストが[プレイリスト]に追加されます。

■ コンピューター内および USB メモリなどの外部デバイス内のフォルダーや音楽ファイルを参照する

ツリービューで[エクスプローラ]の左にある▶をクリックする

ツリービューにコンピューター内および USB メモリーなど外部デバイス内のフォルダーが表示されます。

- ツリービューに[エクスプローラ]が表示されない場合には、[環境設定]画面の[表示] > [レイアウト]で設定してください。

■ **コンピューター内および USB メモリーなどの外部デバイス内のフォルダーをプレイリストとして追加する**

ツリービューで[エクスプローラ]内にあるフォルダーを、ツリービューの[プレイリスト]内にドラッグする。

フォルダーの名称でプレイリストが作成されます。

ホットキューバンクリストを使ってホットキューを整理する

CDJ-2000nexus CDJ-2000

3つのホットキューバンクには、それぞれ別々の音楽ファイルのポイント情報を登録できます。3 つのホットキューバンク (A、B、C) の組み合わせをホットキューバンクリストと呼びます。

複数のホットキューバンクリストを DJ プレーヤーに繰り返しロードすることによって、DJ プレーヤー上で多くのホットキューの組み合わせを使った多彩な DJ パフォーマンスが実現できます。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-900nexus、CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、MEP-4000、XDJ-AERO、XDJ-R1 など) では、ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードできません。
- プレーヤーパネルが 2 プレーヤーモードのときは、ホットキューバンクリスト内のホットキューバンクボタンと削除ボタンが無効になります。

新たにホットキューバンクリストを作成する

1 [ホットキューバンクリスト]フォルダーの右にある ⊕ をクリックする

[ホットキューバンクリスト]フォルダーの下に[無題のホットキューバンクリスト]が追加されます。

2 コンピューターのキーボードでリスト名を入力して、[Enter]キーを押す

ホットキューバンクリスト名が変更されます。

- ホットキューバンクリストを削除するときは、ホットキューバンクリストを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。

キューまたはループをホットキューバンクに登録する

再生中または一時停止中にホットキューバンクに登録したい位置で、ホットキューバンクボタン (A、B、C) のいずれかをクリックする

クリックしたときに再生 (または一時停止) しているポイントが、ホットキューバンクとして登録されます。登録されたポイントがホットキューバンクボタンに表示されます。

- ループ再生中にホットキューバンクボタンをクリックすると、再生中のループポイントがホットキューバンクとして登録されます。

登録されたホットキューバンクを確認する

登録されたポイントが表示されているホットキューバンクボタンをクリックする

そのボタンにポイントが登録されている音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされ、登録されているポイントから再生が始まります。

- 登録されているポイントを削除するときは、削除したいホットキューバンクボタンの右にある[ ]をクリックします。

すでに保存されているキューまたはループを呼び出してホットキューバンクに登録する

1 キューポイントまたはループポイントが保存されている音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする

キュー/ループ呼び出しボタンにキューポイントまたはループインポイントが表示されます。

2 ホットキューバンクに登録したいキュー/ループ呼び出しボタンをクリックする

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

3 登録したいホットキューバンクボタン (A、B、C) のいずれかをクリックする

登録されたポイントがホットキューバンクボタンに表示されます。

すでに記録されているホットキューを呼び出してホットキューバンクに登録する

1 ホットキューが記録されている音楽ファイルをプレーヤーパネルにロードする

記録されているポイントが[HOT CUE]に表示されます。

2 音楽ファイルを再生しているときは[ ]をクリックする

再生が一時停止します。

3 ホットキューバンクに登録したい[HOT CUE]をクリックする

選んだポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

4 登録したいホットキューバンクボタン (A、B、C) のいずれかをクリックする

登録されたポイントがホットキューバンクボタンに表示されます。

フォルダーを使ってホットキューバンクリストを整理する

1　[ホットキューバンクリスト]フォルダーを右クリックして、[新規フォルダを作成]を選ぶ

[ホットキューバンクリスト]フォルダーの下に[新しいフォルダ]が追加されます。

2　コンピューターのキーボードでフォルダー名を入力して、[Enter]キーを押す

3　作成したフォルダーにホットキューバンクリストをドラッグする

作成したフォルダーの下にホットキューバンクリストが移動します。

- フォルダーを削除するときは、フォルダーを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。フォルダーに含まれているホットキューバンクリストおよびフォルダーがすべて削除されます。

ホットキューバンクリストにアートワーク画像を追加する

追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG または PNG です(拡張子:"jpg", "jpeg", "png")。

1　ホットキューバンクリストを右クリックして、[アートワークを追加]を選ぶ

[アートワークを追加] 画面が開きます。

2　画像ファイルが保存されているフォルダーおよびファイル名を選んで、[開く]をクリックする

ホットキューバンクリストにアートワーク画像が追加されます。

- 追加されたアートワーク画像は、ホットキューバンクリストを右クリックするとポップアップされます。

さまざまな機能を使って効率的に作業する

この章では、さまざまな機能を使って効率的に準備する方法をご紹介いたします。

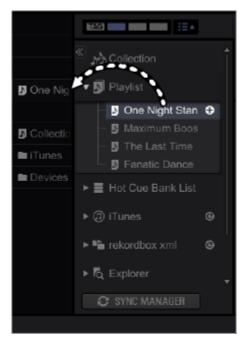
ショートカットを使ってツリービュー内を素早く移動する

ツリービューにあるフォルダーまたはプレイリストのショートカットを作成しておくと、ショートカットをクリックして、目的のフォルダーまたはプレイリストが瞬時にハイライト表示されます。

- ショートカットは、8 個まで登録できます。
- ショートカットは初期設定では表示されないようになっています。

1　ツリービューの アイコンをクリックする

ショートカットが表示されます。

2　ツリービューにあるフォルダーまたはプレイリストを、空のショートカットエリアにドラッグする

フォルダーまたはプレイリストのショートカットが作成されます。

- 作成済みショートカットに、フォルダーまたはプレイリストをドラッグした場合、ドラッグしたものでショートカットは上書きされます。

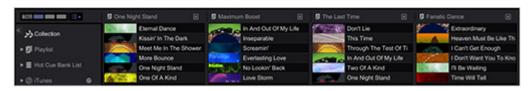
3　作成したショートカットをクリックする

ツリービューの該当するフォルダーまたはプレイリストが、瞬時にハイライト表示されます。

- ショートカットを上下にドラッグして、ショートカットを並べ換えることができます。
- ショートカットを削除するには、ショートカットを右クリックし、[ショートカットから削除]を選びます。(ショートカットを削除しても、元のフォルダーまたはプレイリストは削除されません。)
- トラックをプレイリストのショートカットにドラッグすると、そのプレイリストへトラックを追加できます。

プレイリストパレットを使って音楽ファイルを分類する

プレイリストパレットを使用することによって楽曲の分類作業や選曲を効率的に行うことができます。

- 任意のプレイリストをパレットにアサインして、4 つのリストを同時に表示してプレイリストの編集ができます。
- パレットへのアサインは rekordbox 終了後も保存されます。

パレットを選択する

4 つのパレットのうち、右側の 3 つのパレットを、プレイリストのパレットとして使用できます。

左端のパレット TAG は TAG LIST として使用できます。

をクリックする

選択したパレット内の 4 つのプレイリストが表示されます。

をクリックして、パレット内のリストを開閉することができます。

パレットにプレイリストをアサインする

ツリービューにあるプレイリストをパレットにドラッグする

パレットにプレイリストがアサインされます。

- アサイン済みのパレットの場合は上書きされます。

パレット内のリストにトラックを追加する

トラックリストのトラックを、パレット内のリストにドラッグする

パレット内のリストに、トラックが追加されます。

[blank list]と表示されたパレットにトラックを追加すると、[無題のプレイリスト]が表示されます。

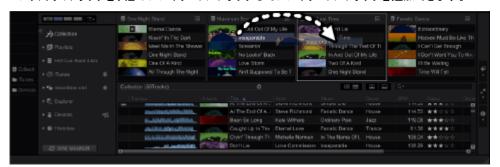
プレイリスト名を、コンピューターのキーボードで入力してください。

新規プレイリストとして、[プレイリスト]に追加されます。

- パレットのリスト名をダブルクリックすると、プレイリスト名の編集ができます。

パレット内のトラックを追加する

パレット内のトラックを他のパレットにドラッグする

- パレット内のトラックを、他のプレイリストにドラッグしてプレイリストにトラックを追加できます。

パレット内のトラックをロードする

パレット内のトラックをプレーヤーパネルにドラッグする

パレット内のトラックが、プレーヤーにロードされます。

パレット内のトラックをソートする

1　リスト名の右にあるをクリックする

プルダウンメニューが表示されます。

2　カーソルを[ソート]に当て、ソート項目を選択する

トラックの並び順が、選択した項目に従って変更されます。

- ソート中はプレイリスト名の右側にが表示されます。

3　をクリックする

昇順/降順が切り換わります。

- が昇順、が降順を示します。

パレット内のトラックを手動で並び換える

パレット内のトラックを上下にドラッグする

パレット内のトラックの並び順が換えられます。

- トラック番号順に並んでいる場合に限ります。

■ パレットからプレイリストを取り除く

1　リスト名の右にある▤をクリックする

プルダウンメニューが表示されます。

2　[パレットから取り除く]をクリックする

プレイリストがパレットから削除されます。

■ パレット内のリストを並び換える

パレット内のプレイリスト名をドラッグして、パレット内の他のプレイリストにドロップする

パレット内の 4 つのリストの並び順が換えられます。

■ ツリービューのプレイリストをハイライト表示させる

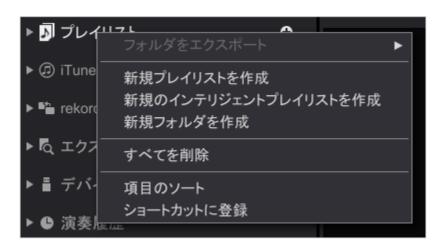
パレット内のプレイリスト名をクリックする

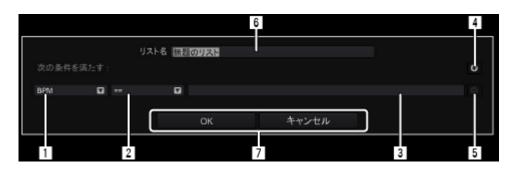
ツリービューの該当するプレイリストが、瞬時にハイライト表示されます。

インテリジェントプレイリストを使って音楽ファイルを整理する

音楽ファイルを指定した条件で絞り込んだリストを自動的に作成します。

■ インテリジェントプレイリストを作成する

1　ツリービューの[プレイリスト]内を右クリックし、メニューから[新規のインテリジェントプレイリストを作成]を選ぶ

インテリジェントプレイリストの設定画面が表示されます。

2　絞り込み条件を設定する

1 絞り込みたい項目を選択します。

2 絞り込み方法を選択します。

- [=]：入力した文字列や値などが完全に一致する音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [≠]：入力した文字列や値などが一致しない音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [>]：設定した値よりも大きい音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [<]：設定した値よりも小さい音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [contains]：入力した文字列が含まれている音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [does not contain]：入力した文字列が含まれていない音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [starts with]：入力した文字列で始まっている音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [ends with]：入力した文字列で終わっている音楽ファイルが、リスト内に表示されます。

- [is in the range]：入力した二つの値の範囲に含まれる音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [is in the last]：現在の日付に対して、入力した日数や月数以内の音楽ファイルが、リスト内に表示されます。
- [is not in the last]：現在の日付に対して、入力した日数や月数以前の音楽ファイルが、リスト内に表示されます。

3 項目に応じた詳細な条件を設定します。

プルダウンメニューがない設定に関しては、コンピューターのキーボードで文字や数値を入力してください。

4 [+]ボタンをクリックして絞り込み条件を追加します。

絞り込み条件が追加されます。

また、[次のすべての条件を満たす]か[次のいずれかの条件を満たす]かをクリックして選択できます。

5 絞り込み条件を削除します。

不要になった条件は、[-]ボタンをクリックして削除できます。

6 このインテリジェントプレイリストの名前を入力します。

コンピューターのキーボードで、文字列を入力してください。

7 [OK]または[キャンセル]をクリックして設定した条件を決定または取り消します。

3 **[OK]ボタンをクリックする**

ツリービューの[プレイリスト]の下に、設定した条件で絞り込まれたインテリジェントプレイリストが追加されます。

- ツリービュー内のインテリジェントプレイリストを右クリックし、[インテリジェントプレイリストを編集]を選ぶと条件設定画面が表示され、絞り込み条件を編集できます。
- ツリービュー内のインテリジェントプレイリストを右クリックし、[プレイリストを削除]を選ぶと削除できます。(削除したいインテリジェントプレイリストを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押しても削除できます。)

マイタグを使って独自のブラウズをする

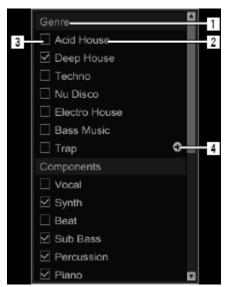
音楽ファイルに付けたタグを条件として、絞り込み検索ができます。

楽曲の特長や DJ での使用シーンなど好みの文言のタグを作ることで、独自のブラウズができます。

- トラックリストで選択している音楽ファイルに、好みの文言のタグ「マイタグ」を付けられます。
- 音楽ファイルに付けたマイタグはマイタグコラムに表示されます。
- マイタグフィルターを使って、マイタグを条件とした絞り込み検索ができます。

マイタグを編集する

1　画面右端の をクリックする

トラックリストの右にマイタグの設定画面が表示されます。

1 カテゴリー名：好きなカテゴリー名を付けることができます。

- マイタグには 4 つのカテゴリーがあり、好きなカテゴリー名に変更できます。

2 マイタグ：音楽ファイルに付加するタグで、好みの言葉にも変更できます。

3 マイタグ付加用チェックボックス：チェックボックスをクリックすると、トラックリストで選択している音楽ファイルにそのタグが付加され、もう一度クリックすると解除されます。

4 マイタグ追加ボタン：マイタグを追加したい場合に使用します。

2　**カテゴリー名を変更する**

カテゴリー名をクリックし、コンピューターのキーボードで文字入力後、[Enter]キーを押します。

カテゴリー名称が変更されます。

3　**マイタグ名を変更する**

マイタグをクリックし、コンピューターのキーボードで文字入力後、[Enter]キーを押します。

マイタグ名が変更されます。

マイタグを音楽ファイルに付ける

1　**トラックリストの音楽ファイルの中から、マイタグを付けたい音楽ファイルをクリックする**

選択した音楽ファイルがハイライト表示されます。

2　**付加したいタグの前にあるチェックボックスをクリックする**

音楽ファイルにマイタグが付加されます。他にも付加したいマイタグがあれば、そこにもチェックを入れます。

- [環境設定] > [詳細]で[「マイタグ」を「コメント」に追加する]のチェックボックスをオンにすると、トラックリストのコメント欄にマイタグが追記されます。

マイタグで絞り込み検索をする

1　**検索フィルターの左側にある▬をクリックする**

マイタグフィルターが表示されます。

2　**BPM を選択する**

選択された BPM の範囲の音楽ファイルが、トラックリストに表示されます。

3　**検索したいマイタグをクリックする**

選択されたマイタグが付加された音楽ファイルだけが、トラックリストに表示されます。

- マイタグは複数選択できます。

複数選択すると、選択しているすべてのマイタグを含む音楽ファイルが、トラックリストに表示されます。

- [RST]をクリックすると、マイタグフィルターで設定した条件を解除します。

■マイタグを削除する

1　画面右端の をクリックする

トラックリストの右にマイタグの設定画面が表示されます。

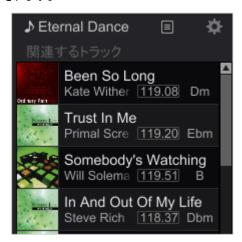
2　[マイタグ]のタグの 1 つを右クリックし、[削除]をクリックする

[マイタグ]のタグが削除されます。

次にプレイする曲の候補を表示する

ある曲に関連する曲を、次にプレイする曲の候補として一覧表示できます。候補曲は BPM、Key、カラー、評価、マイタグなどの曲情報を元に表示されます。
2 プレーヤーモードで相性が良い曲の組み合わせを手動で設定すれば、その情報も表示されます。

1　 をクリックする

[Related Tracks]画面が表示されます。

2　 をクリックする

詳細条件の設定画面がポップアップされます。

3　条件を設定する

現在の曲：

プレーヤーA: [プレーヤーA]にロードされている曲を現在の曲とします。

プレーヤーB: [プレーヤーB]にロードされている曲を現在の曲とします。

リスト: トラックリストウィンドウで選択されている曲を現在の曲とします。

条件：

BPM/Key, etc.：BPM やキーなどの曲情報が現在の曲と似ている曲を表示します。

History：rekordbox に保存している CDJ の演奏履歴から候補曲を表示します。

Matching：あらかじめ 2 プレーヤーモードで アイコンをクリックして、相性の良い曲として保存した候補曲を表示します。

[BPM/Key, etc.]を指定した場合、以下の設定ができます。

BPM の範囲: 0 %から 30 %以内を指定できます。

キー: [同一調]、[近親調 1]、[近親調 2]の中から指定できます。

最近追加した曲: 180 日以内を指定できます。

同じジャンルの曲: 同じジャンル名の曲を表示できます。

同じカラーの曲: 同じカラー設定の曲を表示できます。

評価: 評価を任意で指定できます。

マイタグ: [完全に一致]または[いずれかが一致]を選択します。

4　条件を設定し、[OK]をクリックします。

設定が反映されます。

2 プレーヤーモードでミックスの準備をする

2 つの楽曲をミックスして、出音の相性確認やビートグリットの調整などができます。

ミックスの相性情報をライブラリに保存し、あとの選曲で相性のよい候補として表示できます。

プレーヤーA とプレーヤーB でミックス再生する

1　画面右上にある ボタンをクリックする

プレーヤーパネルが 2 プレーヤーモードに切り換わります。

2　トラックリストなどから音楽ファイルを、プレーヤーA にドラッグする

プレーヤーA に音楽ファイルがロードされます。

3　トラックリストなどから音楽ファイルを、プレーヤーB にドラッグする

プレーヤーB に音楽ファイルがロードされます。

4　プレーヤーA とプレーヤーB の[▶/II]をクリックする

プレーヤーA とプレーヤーB が再生を開始します。

5　プレーヤーA とプレーヤーB のミックス音量を調整する

クロスフェーダーでミックスを試せます。

A側に動かすと、プレーヤーAの音声が大きくなり、プレーヤーBの音声が小さくなります。逆にB側に動かすと、プレーヤーBの音声が大きくなり、プレーヤーAの音声が小さくなります。

ファンクションパネルを表示する

プレーヤー左部にあるボタンを押すと、ファンクションパネルが表示され、キューポイントの保存やループ再生、拍位置調整など、より詳細な操作ができます。もう一度ボタンを押すと、ファンクションパネルの表示がオフになります。

音楽ファイルの再生速度を調整する（テンポコントロール）

2 つの楽曲の再生速度を合わせられます。

テンポ調整ボタンをクリックする

再生中の音楽ファイルの再生速度を変更できます。

- をクリックすると、再生速度が速くなります。
- をクリックすると、再生速度が遅くなります。
- [RST]をクリックすると、元々の再生速度で再生します。
- BPM 値をクリックすると直接数字を入力できます。

音程を変えずに再生速度を調整する（マスターテンポ）

1　[MT]をクリックする

マスターテンポがオンになります。

2　テンポ調整ボタンをクリックする

- 再生速度を変えても音程は変わりません。

音声をデジタル加工するため、音質に影響が出る場合もあります。

ピッチベンドで 2 つの楽曲の拍位置（ビート）を手動調整する

再生中にまたはをクリックする

- 再生中にをクリックすると、マウスの左ボタンを押している間、再生速度が減速します。
- 再生中にをクリックすると、マウスの左ボタンを押している間、再生速度が加速します。

ビートシンクで 2 つの楽曲の拍位置（ビート）とテンポを同期する

1 **トラックをプレーヤーA で再生する**

先に再生した側のプレーヤーが SYNC 機能のマスター（シンクマスター）になります。

2 **トラックをプレーヤーB で再生する**

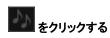
3 **プレーヤーB の[SYNC]をクリックする**

プレーヤーA で再生されているトラックのテンポ（BPM）と拍位置にプレーヤーB が同期します。

- 再度、[SYNC]をクリックすると、SYNC 機能がオフになります。
- SYNC 機能をオフにしたあと、再生中のトラックのテンポ（BPM）をもとに戻すときは[RST]をクリックしてください。

2 つの楽曲の相性を設定する

2 つの楽曲をミックスした際、不協和音がないなど出音の相性が良かった場合、その情報をライブラリに保存できます。
保存した情報は、後の選曲で相性の良い候補として表示できます。

をクリックする

アイコンがに変わり、2 つの楽曲はミックスの相性が良い楽曲としてライブラリに情報が保存されます。

- プレーヤーA とプレーヤーB に音楽ファイルをロードした際、相性が良い曲として設定されていた場合、自動的にが表示されます。

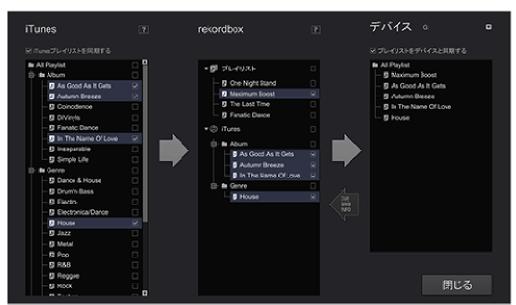
同期マネージャーを使って iTunes ライブラリやデバイスと rekordbox を同期する

同期マネージャーを使用することによって、iTunes や rekordbox のプレイリストを常に最新の状態で簡単に USB デバイスへエクスポートできます。

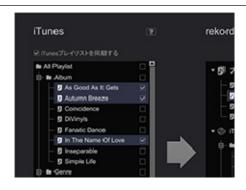
iTunes ライブラリとの同期

iTunes ライブラリと同期すると、iTunes ライブラリの情報を rekordbox 上でシームレスに利用できます。
同期した iTunes プレイリストは常に最新の状態でツリービューの[iTunes]に表示されます。
同期したプレイリスト内の曲は自動的に rekordbox で解析され、アートワークや波形が表示されます。

デバイスとの同期

デバイスと同期すると、選択したプレイリストが常に最新の状態でデバイスにエクスポートされます。
また、DJ プレーヤーで更新したキュー、拍位置や評価を rekordbox に戻すことができます。

同期マネージャーを起動する

ツリービューの下端にある SYNC MANAGER をクリックすると、同期マネージャーが起動します。

rekordbox と同期する iTunes プレイリストを選択する

1　**[iTunes プレイリストを同期する]にチェックを入れる**

rekordbox と同期する iTunes のフォルダーまたはプレイリストを選択できます。

2　**iTunes のフォルダーまたはプレイリストの右にあるチェックボックスにチェックを入れる**

3　**iTunes プレイリストの右にある**を押す。

チェックを入れたプレイリストが同期されます。

同期が完了すると、同期マネージャーの rekordbox ツリービューに同期設定したプレイリストが表示されます。

rekordbox や iTunes のプレイリストをデバイスと同期する

1　**USB デバイスまたは SD カードをコンピューターに挿入します。**

2　**をクリックして、メニューからデバイスを選択する**

選択したデバイス内のプレイリストが表示されます。

3　**[プレイリストとデバイスを同期する]にチェックを入れる**

デバイスと同期したい rekordbox のフォルダーまたはプレイリストを選択できます。

4　**デバイスと同期させたい rekordbox のフォルダーまたはプレイリストの右にあるチェックボックスにチェックを入れる**

5　**[Device]欄の左にあるをクリックする**

チェックを入れたプレイリストが同期されます。

デバイスと同期すると、選択したプレイリストが常に最新の状態でデバイスにエクスポートされます。

プレイリスト内の曲の情報も最新の状態に更新されます。

DJ プレーヤーで更新したキュー、拍位置や評価を rekordbox に戻す

1 rekordbox と同期しているデバイスをコンピューターに接続し、同期マネージャーを起動する

2 ▼をクリックして、メニューからデバイスを選択する

3 [Device]欄の左にある CUE GRID INFO をクリックする

デバイス内の曲の情報が、rekordbox に取り込まれます。

ツリービューでデバイスを選択して[コレクションを更新する]を選んだ時と同じ動作になります。

別のコンピューターからエクスポートした曲や、コレクションから削除された曲の情報を戻すことはできません。

USB デバイスを使って演奏する

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900nexus CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 MEP-4000 XDJ-AERO XDJ-R1

DJ ブースにコンピューターを持ち込まずに、USB デバイス (フラッシュメモリーやハードディスク) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます。

- パイオニア製 DJ プレーヤーで読み込みおよび再生できる音楽ファイル (ファイル形式) については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。
- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-900nexus、CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、MEP-4000、XDJ-AERO、XDJ-R1 など) では、ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードできません。

コンピューターに USB デバイスを接続する

1　コンピューターに USB デバイスを差し込む

- 一部の DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など）では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。

2　演奏に使う USB デバイスの をクリックする

[デバイス]に USB デバイスの設定内容が表示されます。

無線 LAN (Wi-Fi®) 対応のモバイルデバイスを接続する

[デバイス]では、USB デバイスや SD メモリーカードのほかにも、無線 LAN（Wi-Fi®）対応のモバイルデバイス（iPhone や Android™端末など）に rekordbox の音楽ファイルを転送できます。

モバイルデバイス上であらかじめモバイルデバイス用の rekordbox を通信待機状態にしてから、[デバイス]の右にある をクリックしてください。

コンピューターの周辺にあるモバイルデバイスが検出されてリンクが確立すると、[デバイス]にモバイルデバイスの名前が表示されます。

- モバイルデバイス上の rekordbox との連携機能や操作方法については、rekordbox のオンラインサポートでご案内しています。

USB デバイスの設定内容

USB デバイスごとに設定を変更できます。

一般	デバイス名	DJ プレーヤーにセットしたときに表示される名前を設定します。
	背景色	DJ プレーヤーにセットしたときに表示される背景色を設定します。
カテゴリー	DJ プレーヤーで使用するカテゴリー項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	
ソート	DJ プレーヤーで使用する並び替え項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	
コラム	DJ プレーヤー（CDJ−2000nexus など）の本体表示部で音楽ファイルをブラウズする際に、タイトルのすぐ右側に表示させたいユーザー設定カテゴリーを 1 つ指定します。	
カラー	DJ プレーヤーで音楽ファイルを 8 色のカテゴリーで分類するときの色分けについてコメントを編集できます。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	

音楽ファイルを USB デバイスに転送する

1　音楽ファイルを転送したい の左にある をクリックしてから、[すべての楽曲]をクリックする

2　音楽ファイルを[コレクション]から[デバイス]内のデバイスアイコンにドラッグする

音楽ファイルおよび音楽ファイルに付随する情報が USB デバイスに転送されます。

- [iTunes]や[エクスプローラ]から[デバイス]内のデバイスアイコンに音楽ファイルをドラッグしても転送できます。
- USB デバイスから音楽ファイルを削除するときは、[デバイス]で音楽ファイルを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。(ただし、転送中のデバイス内の音楽ファイルは削除できません。)
  - デバイスに転送中は画面の一番下にプログレスバーが表示されます。
  - 同時に 2 つのデバイスに転送できます。

一部の DJ プレーヤー(MEP-4000、XDJ-R1 など)では、USB デバイスに音楽ファイルを転送するだけではなく、USB デバイス内に専用のライブラリ(コレクションやプレイリストなどのデータベース)をクリエイトする必要があります。

■ DJ プレーヤーや DJ ミキサーでクオンタイズ機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、XDJ-AERO、XDJ-R1 など）でキュー操作やループ演奏時のクオンタイズ機能で使用されます。さらに、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900 など）と DJ ミキサー（DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus など）が LAN ケーブルで接続されている場合、エフェクト演奏時のクオンタイズ機能で使用できます。

- DJ プレーヤーや DJ ミキサーでのクオンタイズ機能の使用方法については、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 複数の DJ プレーヤー間でビートシンク機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドを使うと、PRO DJ LINK で接続された複数の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、CDJ-900nexus など) の間、あるいは左右のデッキ（XDJ-AERO、XDJ-R1 など）の間でテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させたミキシングが可能です。

- DJ プレーヤーでのビートシンク機能の使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

■ **DJ プレーヤーでホットキューを使って演奏する**

音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) を DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000、XDJ-R1 など) で呼び出して再生することができます。

- 音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) を DJ プレーヤーで使用する方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、XDJ-R1 など) では、音楽ファイルを選曲して DJ プレーヤーにロードすると同時に、ロードされた音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) で DJ プレーヤーのホットキュー (A、B、C) を強制的に置き換えてしまうこともできます。
- 異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ (A、B、C) を使って演奏する場合には、ホットキューバンクリストを作成して USB デバイスに転送しておく必要があります。

プレイリストを USB デバイスに転送する

1 プレイリストを転送したい の左にある をクリックしてから、[プレイリスト]フォルダーの左にある をクリックする

2 プレイリストを[デバイス]にドラッグする

プレイリストおよびプレイリストを構成する音楽ファイルが USB デバイスに転送されます。

- [iTunes]から[デバイス]にプレイリストをドラッグしても転送できます。
- USB デバイスからプレイリストを削除するときは、[デバイス]でプレイリストを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。

USB デバイスを接続して演奏するDJプレーヤーによっては、USBデバイス内のプレイリストの名称やフォルダーの階層に制約があります。USB デバイスを接続して演奏する際の制約については、各 DJ プレーヤー（MEP-4000、XDJ-R1 など）の取扱説明書をご覧ください。

ホットキューバンクリストを USB デバイスに転送する

CDJ-2000nexus CDJ-2000

異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ（**A**、**B**、**C**）を使って演奏する場合には、あらかじめホットキューバンクリストを作成しておく必要があります。

1 **ホットキューバンクリストを転送したいの左にある をクリックしてから、[ホットキューバンクリスト]フォルダーの左にある をクリックする**

2 **ホットキューバンクリストを[デバイス]にドラッグする**

ホットキューバンクリストおよびホットキューバンクリストを構成する音楽ファイルが USB デバイスに転送されます。

- USB デバイスからホットキューバンクリストを削除するときは、[デバイス]でホットキューバンクリストを選んでからコンピューターのキーボードで[Delete]キーを押します。

コンピューターから USB デバイスを取り外す

1 **コンピューターから取り外したい の右にある をクリックする**

2 **コンピューターから USB デバイスを取り外す**

- 転送中のデバイスは取り外しできません。取り外す場合は、プログレスバーの右にあるを押して転送をキャンセルしてください。

[環境設定]画面で[選択した機器用のライブラリを作成:]に設定されている場合はの右にあるはが表示されます。をクリックすると MEP-4000 専用または XDJ-R1 専用のライブラリの作成が始まるので、終わるのを待ってからコンピューターから USB デバイスを取り外してください。

DJ プレーヤーに USB デバイスを接続して演奏する

DJ ブースに USB デバイス(フラッシュメモリーやハードディスク)を持ち込んで、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーと受け渡しできます。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) では、USB デバイスの代わりに SD メモリーカードを使えます。
- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-900、CDJ-850、CDJ-350、MEP-4000、XDJ-AERO、XDJ-R1 など) では、ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードできません。
- 一部の DJ プレーヤー(MEP-4000、XDJ-R1 など)では、USB デバイス内のフォルダーやプレイリストを表示する際に制約があります。
- DJ プレーヤーへの USB デバイスのセッティングや USB デバイスを使った演奏操作については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DJ プレーヤーで演奏した履歴を取り込む

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350

DJ プレーヤーでの演奏に使った USB デバイスをコンピューターにセットする

デバイス内の演奏履歴が、自動的に rekordbox に取り込まれます。

取り込まれた演奏履歴は、取り込んだ日付が付加されて[演奏履歴]フォルダー内に表示されます。

- 取り込まれた演奏履歴は、USB デバイス内から削除されます。

環境設定で[デバイス接続時に取得]を無効にした場合

1 USB デバイス内の[演奏履歴]フォルダーを開く

DJ プレーヤーでの演奏履歴一覧が表示されます。

2 取り込みたい演奏履歴を右クリックし、[ヒストリーを取り込む]を選ぶ

選択された演奏履歴が、rekordbox に取り込まれます。

取り込まれた演奏履歴は、取り込んだ日付が付加されて[演奏履歴]フォルダー内に表示されます。

- 取り込まれた演奏履歴は、USB デバイス内から削除されます。

DJ プレーヤーで更新した音楽ファイルの情報を読み込む

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 MEP-4000 XDJ-R1

1 DJ プレーヤーでの演奏に使った USB デバイスをコンピューターにセットする

2 情報を読み込みたい USB デバイスの を右クリックして、[コレクションを更新する]を選ぶ

音楽ファイルの情報の更新が始まると[USB デバイスでコレクションを更新する]画面が開いて、更新が終わると閉じます。

- 以下の情報が更新されます。
  - キューポイントおよびループポイント
  - ホットキュー
  - ビートグリッド
  - 曲の情報 (カラー、評価、コメント)
- 更新中に[キャンセル]をクリックすると、[USB デバイスでコレクションを更新する]画面が閉じます。

DJ プレーヤーで作成したプレイリストファイルを読み込む

CDJ-2000nexus CDJ-2000 CDJ-900 CDJ-850 CDJ-350 XDJ-R1

DJ プレーヤーで作成したプレイリストは USB デバイス内に保存されています。
DJ プレーヤーで作成したプレイリストを[デバイス]で確認してから[プレイリスト]に読み込めます。

1 プレイリストを読み込みたい の左にある をクリックしてから、[プレイリスト]フォルダーの左にある をクリックする

USB デバイス内に保存されているプレイリストの一覧が[デバイス]に表示されます。

2 読み込みたいプレイリストを[プレイリスト]にドラッグする

プレイリストが[プレイリスト]に追加されます。

- [デバイス]で読み込みたいプレイリストを右クリックして、[プレイリストをインポート]を選んでも追加できます。
- [プレイリスト]上に同じ名前のプレイリストが存在するときは、プレイリスト名のあとに数字が付与されます。

DJ プレーヤーで作成されたプレイリスト内に rekordbox のコレクションに登録されていない曲が含まれる場合には、その曲が曲順から外されたプレイリストが読み込まれます。

LAN につないで演奏する

CDJ-2000nexus　CDJ-2000　CDJ-900nexus　CDJ-900　DJM-2000nexus　DJM-2000　DJM-900nexus　XDJ-AERO

DJ プレーヤーとコンピューターを LAN ケーブルや無線 LAN で接続すると、rekordbox の音楽ファイルやデータを DJ プレーヤーにリアルタイムでロードできます。

PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーとコンピューターを LAN ケーブルを使って接続すると、DJ ミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターできます。

リンクを確立する（リンクステータスを表示する）

コンピューターで使用されているセキュリティソフトや OS の設定によっては、DJ 機器とのリンクを確立できないことがあります。 この場合は、遮断されているプログラムや通信ポートの設定を解除する必要があります。

1　コンピューターと DJ 機器を接続する

ネットワークに接続されている DJ 機器が検出されると、ブラウザーパネルの左下に が表示されます。

- 接続のしかたについては、各 DJ 機器およびコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- スイッチングハブまたは PRO DJ LINK に対応した DJ ミキサーを使って接続すると、最大 4 台の DJ プレーヤーで rekordbox の音楽ファイルやデータを共有できます。
- 通信環境によっては、ネットワークアドレスが自動的に取得されるまでに時間がかかることがあります。

2　 をクリックする

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器との通信が可能な状態になります。

ブラウザーパネルの下部にリンクステータスパネル（接続されている DJ 機器のアイコン）が表示され、

 が に変わります。

- リンクステータスパネルの左に 2 LINK が表示されるときは、接続したコンピューターが 2 台目で、rekordbox をインストールしたほかのコンピューターがすでにネットワーク内にあることを示しています。
- リンクステータスパネルの左に LINK が表示されるときは、コンピューターが無線 LAN でネットワークに接続されていることを示しています。
- DJ 機器のアイコンの右に[MIDI/HID]が表示されているときは、その DJ 機器が別のコンピューターと USB コントロール (MIDI または HID) で通信中であることを示しています。

■ リンクステータスパネルに表示されている DJ 機器のアイコンを並べ替える

リンクステータスパネルに表示されている DJ 機器のアイコンを左右にドラッグすると、アイコンの表示順序を実際に DJ 機器が配置されている並び順に合わせられます。

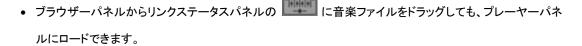
音楽ファイルを DJ ミキサーのヘッドホンでモニターする

DJM-2000nexus DJM-2000 DJM-900nexus

DJミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターするときは、あらかじめ[環境設定]画面で設定してください。

1　**音楽ファイルをブラウザーパネルからプレーヤーパネルにドラッグする**

音楽ファイルがプレーヤーパネルにロードされます。

- ブラウザーパネルからリンクステータスパネルの に音楽ファイルをドラッグしても、プレーヤーパネルにロードできます。

2　**プレーヤーパネルの[▶/II]をクリックする**

再生が始まります。
rekordbox の音楽ファイルの音声が LAN ケーブルを伝わって DJ ミキサーへ出力されます。

3　**DJ ミキサーの[LINK]チャンネルの音声をヘッドホンでモニターする**

- DJ ミキサーの操作については、各 DJ ミキサーの取扱説明書をご覧ください。

音楽ファイルを DJ プレーヤーにロードする

DJ プレーヤーの[LOCK]機能が働いている場合には、DJ プレーヤーの再生を一時停止してからでないと音楽ファイルをロードできません。

音楽ファイルを[コレクション]からリンクステータスパネルの **にドラッグする**

音楽ファイルが DJ プレーヤーにロードされ、再生が始まります。

- [プレイリスト]、[iTunes]、[タグリスト]、[演奏履歴]、または[エクスプローラ]から音楽ファイルをドラッグしても DJ プレーヤーにロードできます。

[iTunes]から音楽ファイルを DJ プレーヤーにロードした場合などに、未解析の音楽ファイルがあるとその解析処理によって、コンピューターに負荷がかかることがあります。
この負荷を軽減して音楽ファイルを DJ プレーヤーにスムーズにロードするためには、あらかじめ[環境設定]画面で設定してください。

DJ プレーヤーや DJ ミキサーでクオンタイズ機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドは、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、XDJ-AERO、XDJ-R1 など）でキュー操作やループ演奏時のクオンタイズ機能で使用されます。さらに、DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900 など）と DJ ミキサー（DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus など）が LAN ケーブルで接続されている場合、エフェクト演奏時のクオンタイズ機能で使用できます。

- DJ プレーヤーや DJ ミキサーでのクオンタイズ機能の使用方法については、各 DJ 機器の取扱説明書をご覧ください。

複数の DJ プレーヤー間でビートシンク機能を使って演奏する

rekordbox を使って検出および調整した音楽ファイルのビートグリッドを使うと、PRO DJ LINK で接続された複数の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、CDJ-900nexus など) の間、あるいは左右のデッキ（XDJ-AERO、XDJ-R1 など）の間でテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させたミキシングが可能です。

- DJ プレーヤーでのビートシンク機能の使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

rekordbox でテンポ (BPM) を指定して、複数の DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など）のテンポ (BPM) と拍位置 (ビート) を同期させることもできます。

DJ プレーヤーでホットキューを使って演奏する

音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) を DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus や CDJ-2000 など) で呼び出して再生することができます。

- 音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) を DJ プレーヤーで使用する方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

- 一部の DJ プレーヤー (CDJ-2000nexus、XDJ-R1 など) では、音楽ファイルを選曲して DJ プレーヤーにロードすると同時に、ロードされた音楽ファイルに記録されているホットキュー (A、B、C) で DJ プレーヤーのホットキュー (A、B、C) を強制的に置き換えてしまうこともできます。
- 異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ (A、B、C) を使って演奏する場合には、ホットキューバンクリストを作成して DJ プレーヤーにロードする必要があります。

ホットキューバンクリストを DJ プレーヤーにロードする

CDJ-2000nexus CDJ-2000

異なる音楽ファイルのホットキュー の組み合わせ (A、B、C) を使って演奏する場合には、あらかじめホットキューバンクリストを作成しておく必要があります。

ホットキューバンクリストを[ホットキューバンクリスト]からリンクステータスパネルの **にドラッグする**

ホットキューバンクリストに登録されているホットキューバンク (A、B、C) が、DJプレーヤーのホットキュー (A、B、C) にロードされます。

タグリストを使って音楽ファイルを共有する

CDJ-2000nexus　CDJ-2000　CDJ-900nexus　CDJ-900　XDJ-AERO

タグリストとは、リンクステータスパネルに表示されている複数の DJ プレーヤーの間で、リアルタイムで相互に参照できるリストのことです。

rekordbox からタグリストに音楽ファイルを追加すると、タグリスト上の音楽ファイルを DJ プレーヤーからの操作によって DJ プレーヤーにロードして再生できます。

1　ツリービューの上にある TAG をクリックし、その右にある をクリックする

- タグリストを表示するには、[環境設定] > [表示] > [レイアウト]で[プレイリストパレット]をチェックする必要があります。

2　音楽ファイルを[コレクション]から[タグリスト]にドラッグする

音楽ファイルが[タグリスト]に追加されます。

- [プレイリスト]または[iTunes]から音楽ファイルやプレイリストをドラッグしても追加できます。
- 最大 100 ファイルまで追加できます。

タグリスト内の曲順を変更する

1　曲順の番号が表示されている列の見出しをクリックする

クリックするたびに昇順/降順が切り換わります。

2　音楽ファイルをドラッグして、順番を並べ替える

曲順以外でソートしているときは、音楽ファイルをドラッグしても曲順は変更できません。

DJ プレーヤーでタグリストを使って演奏する

各 DJ プレーヤーからの操作で、タグリスト上の音楽ファイルをそれぞれの DJ プレーヤーにロードして再生したり、実際の演奏に使われたタグリストを rekordbox のプレイリストとして保存したりできます。

- DJ プレーヤーからタグリストへのアクセス方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

演奏履歴を確認する

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ プレーヤーで演奏した音楽ファイルおよび曲順を[演奏履歴]で確認できます。

1　ツリービューの[演奏履歴]をダブルクリックする

演奏履歴が年と月のフォルダーで分類されて表示されます。
PRO DJ LINK で演奏された履歴は、演奏した年月のフォルダー内に[LINK HISTORY yyyy-mm-dd]という名前で作成されます。

2　[LINK HISTORY yyyy-mm-dd]を選択する

トラックリストに演奏された音楽ファイルのリストが表示されます。

リンクを終了する

をクリックする

LAN ケーブルや無線 LAN で接続されている DJ 機器 (CDJ-2000nexus、CDJ-2000、CDJ-900nexus、CDJ-900、DJM-2000nexus、DJM-2000、DJM-900nexus、XDJ-AERO など) との通信が終了します。

音楽ファイルの管理

バックアップ機能を使ってデータを保存する

コンピューターの故障など、万が一の場合に備えて定期的なバックアップをお勧めします。

rekordbox のコレクションやプレイリスト、解析情報、音楽ファイルなどのデータをバックアップできます。

また、バックアップ機能を使って、コンピューターの買い換えなどのときに、元のコンピューターから新しいコンピューターにデータを移すことができます。

1　[ファイル]メニュー上の[ライブラリ]をクリックし、[ライブラリのバックアップ]をクリックする

はじめにバックアップの注意事項が表示されます。

[コレクション]に多くの曲がインポートされている場合、コンピューターの性能によっては長時間掛かる場合があります。

2　[はい]をクリックする

「楽曲ファイルも一緒にバックアップしますか?」というポップアップが表示されます。

3　[はい]または[いいえ]をクリックする

コンピューターの買い換えなどで元のコンピューターのデータを移す際は、楽曲ファイルも一緒にバックアップすることをお勧めします。

バックアップデータの保存先を指定するダイアログが表示されます。

4　保存する場所を指定して[保存]をクリックする

バックアップが開始されます。完了すると[コレクションのバックアップが完了しました]と表示されるので[OK]をクリックします。

リストア機能を使ってバックアップデータに置き換える

バックアップしたデータに置き換えます。

1 **[ファイル]メニューから[ライブラリ] > [ライブラリのリストア]をクリックする**

多くの曲が含まれているバックアップデータの場合、コンピューターの性能によっては長時間かかる場合があります。

2 **[はい]をクリックする**

バックアップデータを指定するダイアログが表示されます。

3 **リストアしたいバックアップデータ (xxx.zip** または **xxx.edb) を指定して[開く]をクリックする**

バックアップデータの置き換え処理が開始されます。完了すると[コレクションのリストアが完了しました]と表示されるので[OK]をクリックします。
古いバージョンの rekordbox でバックアップした edb ファイルもリストアできます。

見つからない音楽ファイルのファイルパスを更新する

rekordbox は、音楽ファイルが保存されている場所の情報 (ファイルパス) を管理しています。ファイル名/フォルダー名の変更、ファイル/フォルダーの移動、またはファイル/フォルダーの削除を行うと再生できなくなることがあります。(見つからない音楽ファイルの左に ! が表示されます。)

1 **[ファイル] メニュー > [見つからないファイルをすべて表示] を選ぶ**

[見つからないファイルの管理]画面が開いて、見つからない音楽ファイルの一覧が表示されます。

2 **ファイルパスを修正したい音楽ファイルを選択して、[再配置]をクリックする**

[新しいファイルパスを選択]画面が開きます。

3 **音楽ファイルが保存されているフォルダーおよびファイル名を選んで、[開く]をクリックする**

音楽ファイルが保存されている場所の情報（ファイルパス）が修正されます。

- [コレクション]で ! が表示されている音楽ファイルを右クリックして、[再配置]を選んでもファイルパスを修正できます。

[新しいファイルパスを選択]画面で、誤って別の音楽ファイルを選ばないよう、ご注意ください。

設定項目一覧

rekordbox の各種設定を変更するときは、[ファイル]メニュー＞[環境設定]を選んで[環境設定]画面を開きます。

環境設定: 表示

言語	画面表示に使う言語を設定します。	
文字	文字の大きさを設定します。	
アートワーク	トラックリストとタグリストに表示される全体表示タイプのアートワークの大きさを設定します。	
レイアウト	ツリービュー	ツリービューに[ホットキューバンクリスト]、[iTunes]、[rekordbox xml]、[エクスプローラ]を表示する/しないを設定します。
	プレイリストパレット	プレイリストパレットを表示する/しないを設定します。
ポップヒント	ポップヒントを表示する/しないを設定します。	

環境設定: オーディオ

Use “LINK MONITOR”of Pioneer DJ Mixers	PRO DJ LINK で接続された DJ ミキサーのヘッドホンで rekordbox の音楽ファイルをモニターする/しないを設定します。
オーディオデバイス	音声を出力するオーディオデバイスを設定します。
サンプルレート	オーディオデバイスに送る音声データのサンプリング周波数を設定します。 サンプルレートが高いほど、原音に近い音声で再生できます。ただし、音声データ量が増すためオーディオデバイスへの負荷が大きくなります。
バッファサイズ	1 回にオーディオデバイスへ送るサンプル数を設定します。 バッファサイズを大きくすると、音声データの欠落（音飛び）は減ります。ただし、音声データの伝送遅延（レイテンシー）が増えるため、音楽ファイルの見かけ上の再生位置と、実際に出力されている音声で時間差が大きくなります。
出力チャンネル	オーディオデバイスに複数の出力があるとき、音声を出力するチャンネルを設定します。
メトロノーム	音楽ファイルのビートグリッドを試聴するときのメトロノームの音色を設定します。

環境設定: 解析

楽曲解析	楽曲解析モード	音楽ファイルの波形情報を解析するモードを設定します。 ● ノーマル:テンポが一定している曲に適しています。 ● ダイナミック:テンポが途中で変化する曲に適しています。
	LAN 接続中の解析を許可	DJ機器とのリンクが確立している間でも、コレクションに追加された音楽ファイルの解析処理をする/しないを設定します。 ここで解析処理をしない設定にした場合には、処理は保留されます。保留された解析処理は、DJ機器とのリンクが終了したあとに自動的に開始されます。
	解析ファイルの保存先	解析した音楽ファイルの波形情報を保存する場所を設定します。
キー検出	インポート時にキーを検出	音楽ファイルをコレクションに追加するときに、キー（音階）の検出をするかどうかを設定します。
	ID3 タグに値を保存	検出したキーを ID3 タグに反映します。

環境設定: ブリッジ

iTunes	iTunes ライブラリファイル	[iTunes]でブラウズする iTunes ライブラリの xml ファイルを指定します。
	iTunes の「グループ」情報を rekordbox の「レーベル」情報に変換	iTunes ライブラリから rekordbox のコレクションに音楽ファイルの情報を取り込むときに、iTunes のグループ情報を rekordbox のレーベル情報として保存する/しないを設定します。
rekordbox xml	拍位置情報をエクスポート	rekordbox のライブラリの情報を xml ファイルに書き出すときに、rekordbox の拍位置情報を xml ファイルに出力する/しないを設定します。
	インポートされているライブラリ	[rekordbox xml]でブラウズするプレイリストライブラリ（xml ファイルの場所）を指定します。rekordbox で表示できるプレイリストライブラリについての最新情報は、rekordbox のオンラインサポートをご覧ください。

環境設定: デバイス

選択した機器用のライブラリを作成:	USB デバイス内に MEP-4000 専用または XDJ-R1 専用のライブラリ(コレクションやプレイリストなどのデータベース)を作成する/しないを設定します。ライブラリを作成する設定にしたときには、コンピューターから USB デバイスを取り外す際に USB デバイス内に MEP-4000 専用または XDJ-R1 専用のライブラリが作成されます。 ● [XDJ-R1]に設定した場合に限り、[320 x 320 の大きさの画像を作成]をチェックすると、エクスポートするデバイスに 320 x 320 の大きさのアートワークを作成できます。
外付けデバイスから曲をインポートした時に、デバイス内にCDJ用のライブラリを作成する	外付けデバイスから曲をインポートする際、楽曲ファイルをコピーすることなく自動的にデバイス内にライブラリを作成できます。
曲の削除	[デバイス]でプレイリストを削除すると、USB デバイス(または SD メモリーカード)内のプレイリストが削除されます。この処理と同時に、USB デバイス(または SD メモリーカード)内にある音楽ファイルを削除する/しないを設定します。 音楽ファイルが削除されるのは、その音楽ファイルがほかのプレイリストで使われていない場合に限られます。
演奏履歴	デバイス接続時に CDJ の演奏履歴を[演奏履歴]へ自動的に追加する/しないを設定します。

環境設定: CDJ

カテゴリー	DJ プレーヤーで使用するカテゴリー項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
並び替え	DJ プレーヤーで使用する並び替え項目と表示順序を指定します。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
コラム	DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など）の本体表示部で音楽ファイルをブラウズする際に、タイトルのすぐ右側に表示させたいユーザー設定カテゴリーを 1 つ指定します。
マイセッティング	DJ プレーヤーの本体の設定を rekordbox に保存しておいて、USB デバイスやモバイルデバイス、または PRO DJ LINK を経由して DJ プレーヤーに反映させることができます。使い慣れている設定を即座に DJ プレーヤーにセットアップできるので、安心して DJ プレイに専念することができます。マイセッテイングに保存しておいて呼び出せる設定項目については、各 DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus など）の取扱説明書をご覧ください。
Hot Cue	音楽ファイルをコレクションに追加するときに、[情報]の[CDJ にホットキューを自動的にロード] にチェックを入れる/入れないを設定します。[情報]の[CDJ にホットキューを自動的にロード] にチェックが入っている音楽ファイルが DJ プレーヤー（CDJ-2000nexus、XDJ-R1 など）にロードされると、ロードされた音楽ファイルに記録されているホットキュー（A、B、C）で DJ プレーヤーのホットキュー（A、B、C）が強制的に置き換えられます。

環境設定: キーボード

キーボード	各ボタンにキーボードショートカットを割り当てます。

環境設定: 詳細

コンピューター名	DJ 機器（CDJ-2000nexus や XDJ-AERO など）に表示されるこのコンピューターの名前を設定します。
マイタグ	マイタグをコメントに反映する/しないを設定します。
カラーコメント	DJ プレーヤーで音楽ファイルを 8 色のカテゴリーで分類するときの色分けについてコメントを編集できます。DJ プレーヤーでのライブラリブラウズの使用方法については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
旧バージョン互換	古いバージョン（1.5.3 以前）の rekordbox では「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」にある「ギャップレス再生情報」を利用していましたが、現行のパイオニア製 DJ プレーヤーおよび現行の rekordbox では「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」にある「ギャップレス再生情報」は利用していません。[拍位置]にチェックを入れることによって、古いバージョン（1.5.3 以前）の rekordbox で解析/調整された「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」でも、現行のパイオニア製 DJ プレーヤーおよび現行の rekordbox の仕様に合わせて拍位置が補正できます。また、[キューポイント]にチェックを入れることによって、古いバージョン（1.5.3 以前）の rekordbox で設定された「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」のキューやループも補正できます。これらの補正処理は、「LAME を用いてエンコードされた MP3 ファイル」を現行の rekordbox で再生したり、USB デバイスにエクスポートしたりする時に自動的に実行されて更新されます。

- CDJ (カテゴリー/並び替え/コラム) と詳細 (カラー) の設定は、リンクステータスパネルに表示されている複数の DJ プレーヤーに対して共通に適用されます。
- CDJ (カテゴリー/並び替え/コラム) と詳細 (カラー) の設定は、[デバイス]のデフォルト値としても適用されます。USB デバイスごとに設定が変更できます。

メニュー項目一覧

[ファイル]メニュー

インポート > 楽曲をインポート	音楽ファイルを解析してコレクションに追加します。
インポート > フォルダをインポート	フォルダー内にある音楽ファイルを解析してコレクションに追加します。
インポート > プレイリストをインポート	プレイリストファイル（M3U、M3U8）をインポートし、プレイリストを構成する音楽ファイルを解析して rekordbox のライブラリ(コレクションやプレイリストなどのデータベース)に追加します。
見つからないファイルをすべて表示	音楽ファイルの削除や移動などによって再生不能になったコレクションを表示します。
ライブラリ > ライブラリのバックアップ	rekordbox のライブラリ（コレクションやプレイリストなどのデータベース）、解析情報、音楽ファイルをバックアップします。 バックアップデータはファイル名に日付を付けて保存できます。
ライブラリ > ライブラリのリストア	rekordbox のライブラリ（コレクションやプレイリストなどのデータベース）、解析情報、音楽ファイルを復元します。 復元の元になるデータは、複数のバックアップファイルの中から選べます。
コレクションを xml 形式でエクスポート	rekordbox のライブラリ(コレクションやプレイリストなどのデータベース)にあるすべてのプレイリストの情報およびそれらのプレイリストを構成している音楽ファイルの情報を、xml 形式の単一ファイルに書き出します。
環境設定	rekordbox の各種設定を変更します。
終了	rekordbox を終了します。

[表示]メニュー

全画面表示	rekordbox のウィンドウを全画面表示にします。
1 プレーヤー	プレーヤーパネルに 1 つのプレーヤーを表示します。
2 プレーヤー	プレーヤーパネルに 2 つのプレーヤーを表示します。
シンプルプレーヤー	プレーヤーパネルを簡易的に表示します。 音楽ファイルの再生、一時停止、および音量調節だけ操作できます。
フルブラウザ	プレーヤーパネルを非表示にします。 ブラウザーパネルで音楽ファイルをダブルクリックすると音楽ファイルを再生します。

[トラック]メニュー

楽曲を解析	選択している音楽ファイルの全体波形、詳細波形、BPM、拍位置、小節位置を解析します。
キーを検出	選択している音楽ファイルのキーを検出します。
タグを再読み込み	選択している音楽ファイルの ID3 タグ情報を再度読み出して rekordbox のライブラリ（コレクションやプレイリストなどのデータベース）の音楽ファイル情報に反映します。
プレイリストに追加	選択している音楽ファイルをプレイリストに追加します。
コレクションにインポート	選択している音楽ファイルを解析してコレクションに追加します。
楽曲をエクスポート	選択している音楽ファイルをデバイスへ転送します。
コレクションから削除	選択している音楽ファイルをコレクションから削除します。 ● 楽曲ファイル自体は削除されません。
情報を表示する	[情報]を開いて選択している音楽ファイルの情報を表示します。
ファインダー/エクスプローラで開く	選択している音楽ファイルのファイルが存在するフォルダーをファインダーまたはエクスプローラーで開きます。
再配置	音楽ファイルのファイルパスを再設定します。

[プレイリスト]メニュー

プレイリストをエクスポート	選択しているプレイリストをデバイスへ転送します。
プレイリストをインポート	[iTunes]または[rekordbox xml]にある選択しているプレイリストを rekordbox にインポートします。
新規プレイリストを作成	選択しているプレイリストまたはフォルダーと同じ階層に新規のプレイリストが追加されます。
新規のインテリジェントプレイリストを作成	選択しているプレイリストまたはフォルダーと同じ階層に新規のインテリジェントプレイリストが追加されます。
新規フォルダを作成	選択しているプレイリストまたはフォルダーと同じ階層に新規のフォルダーが追加されます。
プレイリストを削除	選択しているプレイリストまたはインテリジェントプレイリストを削除します。
項目のソート	選択しているフォルダー内のプレイリストの並び順を昇順にソートします。 ● [プレイリスト]、[H. Cue Bank]、[デバイス]内の[プレイリスト]、[H. Cue Bank]が対象です。
曲順をリナンバする	プレイリスト内でソートされている並び順にトラック番号を付け直します。
情報を保存	選択しているプレイリストの情報をテキストまたは M3U8 で書き出します。

[ヘルプ]メニュー

KUVO	KUVO アカウントの設定を表示します。
オンラインマニュアル	本ソフトウェアの操作説明書を開きます。
オンラインサポート	本ソフトウェアのオンラインサポートへ接続します。
rekordbox アップデートマネージャー	本ソフトウェアのアップデートサイトへ接続します。
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンを表示します。

ジャンル一覧

音楽ファイルのタグ情報にジャンル名称が存在しないとき、ジャンルコードを以下の英文字列に変換して表示します。

0	Blues	ブルース
1	Classic Rock	クラシックロック
2	Country	カントリー
3	Dance	ダンス
4	Disco	ディスコ
5	Funk	ファンク
6	Grunge	グランジ
7	Hip-Hop	ヒップホップ
8	Jazz	ジャズ
9	Metal	メタル
10	New Age	ニューエイジ
11	Oldies	オールディーズ
12	Other	その他
13	Pop	ポップ
14	R&B	リズム&ブルース
15	Rap	ラップ
16	Reggae	レゲエ
17	Rock	ロック
18	Techno	テクノ
19	Industrial	インダストリアル
20	Alternative	オルタナティブ
21	Ska	スカ
22	Death Metal	デスメタル

23	Pranks	プランクス
24	Soundtrack	サウンドトラック
25	Euro-Techno	ユーロテクノ
26	Ambient	アンビエント
27	Trip-Hop	トリップホップ
28	Vocal	ボーカル
29	Jazz+Funk	ジャズファンク
30	Fusion	フュージョン
31	Trance	トランス
32	Classical	クラシカル
33	Instrumental	インストゥルメンタル
34	Acid	アシッド
35	House	ハウス
36	Game	ゲーム
37	Sound Clip	サウンドクリップ
38	Gospel	ゴスペル
39	Noise	ノイズ
40	Alternative Rock	オルタナティブロック
41	Bass	ベース
42	Soul	ソウル
43	Punk	パンク
44	Space	スペース
45	Meditative	メディタティブ
46	Instrumental Pop	インストゥルメンタルポップ
47	Instrumental Rock	インストゥルメンタルロック
48	Ethnic	エスニック

49	Gothic	ゴシック
50	Darkwave	ダークウエーブ
51	Techno-Industrial	テクノインダストリアル
52	Electronic	エレクトロニック
53	Pop-Folk	ポップフォーク
54	Eurodance	ユーロダンス
55	Dream	ドリーム
56	Southern Rock	サザンロック
57	Comedy	コメディ
58	Cult	カルト
59	Gangsta	ギャングスタ
60	Top 40	トップ40
61	Christian Rap	クリスチャンラップ
62	Pop/Funk	ポップファンク
63	Jungle	ジャングル
64	Native American	ネイティブアメリカン
65	Cabaret	キャバレー
66	New Wave	ニューウェーブ
67	Psychedelic	サイケデリック
68	Rave	レイブ
69	Showtunes	ショーチューンズ
70	Trailer	トレーラ
71	Lo-Fi	ローファイ
72	Tribal	トライバル
73	Acid Punk	アシッドパンク
74	Acid Jazz	アシッドジャズ

75	Polka	ポルカ
76	Retro	レトロ
77	Musical	ミュージカル
78	Rock & Roll	ロックンロール
79	Hard Rock	ハードロック
80	Folk	フォーク
81	Folk/Rock	フォークロック
82	National Folk	ナショナルフォーク
83	Swing	スウィング
84	Fast Fusion	ファストフュージョン
85	Bebop	ビバップ
86	Latin	ラテン
87	Revival	リバイバル
88	Celtic	ケルト
89	Bluegrass	ブルーグラス
90	Avantgarde	アバンギャルド
91	Gothic Rock	ゴシックロック
92	Progressive Rock	プログレッシブロック
93	Psychedelic Rock	サイケデリックロック
94	Symphonic Rock	シンフォニックロック
95	Slow Rock	スローロック
96	Big Band	ビッグバンド
97	Chorus	コーラス
98	Easy Listening	イージーリスニング
99	Acoustic	アコースティック
100	Humour	ユーモア

101	Speech	スピーチ
102	Chanson	シャンソン
103	Opera	オペラ
104	Chamber Music	室内楽
105	Sonata	ソナタ
106	Symphony	シンフォニー
107	Booty Bass	ブーティベース
108	Primus	プライマス
109	Porn Groove	ポルノグルーブ
110	Satire	サタイア
111	Slow Jam	スロージャム
112	Club	クラブ
113	Tango	タンゴ
114	Samba	サンバ
115	Folklore	フォルクローレ
116	Ballad	バラード
117	Power Ballad	パワーバラード
118	Rhythmic Soul	リズミックソウル
119	Freestyle	フリースタイル
120	Duet	デュエット
121	Punk Rock	パンクロック
122	Drum Solo	ドラムソロ
123	A Capella	アカペラ
124	Euro-House	ユーロハウス
125	Dance Hall	ダンスホール
126	Goa	ゴア

127	Drum & Bass	ドラム&ベース
128	Club-House	クラブハウス
129	Hardcore	ハードコア
130	Terror	テラー
131	Indie	インディーズ
132	BritPop	ブリットポップ
133	Negerpunk	Neger パンク
134	Polsk Punk	Polsk パンク
135	Beat	ビート
136	Christian Gangsta Rap	クリスチャンギャングスタラップ
137	Heavy Metal	ヘビーメタル
138	Black Metal	ブラックメタル
139	Crossover	クロスオーバー
140	Contemporary Christian	コンテンポラリークリスチャン
141	Christian Rock	クリスチャンロック
142	Merengue	メレンゲ
143	Salsa	サルサ
144	Thrash Metal	スラッシュメタル
145	Anime	アニメ
146	Jpop	Jポップ
147	Synthpop	シンセポップ

免責事項について

お客様が本ソフトウェアを使用するにあたっての合法性や道徳性、動作の確実性などについて当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。お客様がお使いになっているコンピューターおよび本ソフトウェアの動作環境、他のソフトウェアとの組み合わせによっては、本ソフトウェアの動作に不具合が発生することがあります。

万一、お客様が本ソフトウェアを使用して登録した情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。お客様が登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

読み込みおよび再生が可能な音楽ファイル（ファイル形式）

本ソフトウェアで読み込みおよび再生できる音楽ファイルは、以下の表のとおりです。あらかじめご了承ください。

ファイル形式

音楽ファイル	対応フォーマット	エンコード方式	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数	ファイル拡張子
MP3 ファイル	MPEG-1 AUDIO LAYER-3	CBR, VBR	16 bit	32 kbps 〜 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	.mp3
	MPEG-2 AUDIO LAYER-3	CBR, VBR	16 bit	16 kbps 〜 160 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz	.mp3
AAC ファイル	MPEG-4 AAC LC	CBR, VBR	16 bit	8 kbps 〜 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	.m4a, .mp4
WAVE ファイル		非圧縮 PCM	16 bit, 24 bit	―	44.1 kHz, 48 kHz	.wav
AIFF ファイル		非圧縮 PCM	16 bit, 24 bit	―	44.1 kHz, 48 kHz	.aif, .aiff

- 音声と動画が記録されている音楽ファイル、または著作権が保護されている音楽ファイルは、読み込みおよび再生できないことがあります。
- パイオニア製 DJ プレーヤーで読み込みおよび再生できる音楽ファイル（ファイル形式）については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

書き込みが可能な記憶媒体（ファイルシステム）

本ソフトウェアで書き込みできる SD メモリーカードおよび USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) は以下の表のとおりです。あらかじめご了承ください。

ファイルシステム

記憶媒体	FAT16	FAT32	NTFS	HFS	HFS+
SD メモリーカード	○	○	×	×	×
USB デバイス	○	○	×	×	○

- パイオニア製 DJ プレーヤーで使える SD メモリーカードおよび USB デバイス（フラッシュメモリーまたはハードディスク）については、各 DJ プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- rekordbox と組み合わせて使用できるパイオニア製 DJ プレーヤーについての最新情報は、rekordbox のオンラインサポートでご案内しています。
- HFS+は Mac OS X でのみ利用可能です。

コンピューターの通信環境（プログラム/OS/ネットワーク）

コンピューターで使用されているセキュリティソフトや OS の設定によっては、DJ 機器やモバイルデバイスとの通信が遮断されてしまうことがあります。

この場合は、遮断されているプログラム（以下の 4 つ）の設定を解除する必要があります。

- rekordbox.exe
- PSvNFSd.exe
- PSvLinkSysMgr.exe
- edb_streamd.exe

コンピューターのインターネット接続の共有を有効にすると、LAN に接続されている他のコンピューターや DJ 機器の通信に障害が発生することがあります。コンピューターを LAN に接続する前に、コンピューターのインターネット接続の共有を無効に戻してください。

コンピューターのインターネット接続の共有を無効に戻す方法は、以下のとおりです。

- Mac OS X：[システム環境設定]を開き、[インターネットとネットワーク]にある[共有]の[インターネット共有]のチェックを外す。
- Windows：[ローカルエリア接続のプロパティ]を開き、[共有]にある[インターネット接続の共有]の[ネットワークのほかのユーザーに、このコンピュータのインターネット接続をとおしての接続を許可する]のチェックを外す。

また、ルーターなどの通信機器によってネットワーク (IP アドレスやポート番号) が制限されている場合も、DJ 機器やモバイルデバイスとの通信が遮断されてしまうことがあります。

ご使用の通信機器、セキュリティソフト、OS の設定方法については、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。

オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox のオンラインマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されております FAQ をご確認ください。

<rekordbox のオンラインサポート>

http://rekordbox.com/

- rekordbox についてお問い合わせいただくには、事前に rekordbox のオンラインサポートでユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム (お客様の e-mail アドレス)」と「パスワード」は、お忘れにならないように十分ご注意ください。
- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためにお客様の個人情報を収集させていただいております。
  1. お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
  2. 商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールでお客様にお知らせするため
  3. お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため
  - お客様から収集する個人情報は当社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。
  - 当社の個人情報保護方針は rekordbox のオンラインサポートでご覧いただけます。
- rekordbox についてのお問い合わせの際には、お客様のコンピューターの機種名およびスペックの詳細 (CPU･メモリー搭載量･接続している周辺機器など)･オペレーティングシステムのバージョン･具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。
  - コンピューターや周辺機器など、当社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問に関しては、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。
- 今後、rekordbox の機能･性能向上のためのバージョンアップを予定しております。rekordbox のオンラインサポートからアップデートプログラムをダウンロードできます。是非ともこのアップデートを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただきますようお願い申し上げます。

著作権についてのご注意

- rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。
  - 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
  - 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  - CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
  - インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

商標、ライセンス等

- Pioneer および rekordbox は、パイオニア株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Finder、iTunes、Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- App Store は Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Play は Google Inc.の商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- MPEG Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスを受けています。

  本製品で付与されているライセンスは非商業的な個人目的での使用に限定され、商業目的 (営利目的) でのリアルタイム放送 (地上波、衛星放送、ケーブルテレビ、その他の媒体)、またはインターネット、イントラネット等のネットワークを利用したブロードキャストまたはストリーミング、あるいはペイオーディオ、オーディオオンディマンドアプリケーション等の電子コンテンツ配信システムで本製品を使用するライセンスを与えるものではなく、そのような権利を暗示するものでもありません。商業目的での使用には別途ライセンスが必要となります。詳細については、http://www.mp3licensing.com をご覧ください。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号

<DRJ1030->

rekordbox version 3.0.0